

- 1 会議名 決算特別委員会
- 2 日時 平成28年10月6日(木) 10時00分開会  
15時39分散会
- 3 場所 議場
- 4 出席委員 牟田学委員長、西田数市副委員長、白石純一委員、  
渡辺久治委員、竹原信一委員、仮屋園一徳委員、  
竹原恵美委員、野畑直委員、中面幸人委員、  
大田重男委員、濱崎國治委員、山田勝委員、  
岩崎健二委員
- 5 欠席委員 濱田洋一委員
- 6 事務局職員 議事係長 東 岳也、議事係 大漣 昭裕
- 7 説明員
- ・教育総務課  
課長 小中 茂信 君 課長補佐 牛濱 睦郎 君  
係長 尾上 国男 君
  - ・学校教育課  
課長 久保 正昭 君 課長補佐 小田原 真 君  
係長 鎌田 広文 君
  - ・学校給食センター  
所長(兼) 小中 茂信 君 所長補佐 前田 武三 君
  - ・生涯学習課  
課長 中野 貴文 君 課長補佐 平田寿美子 君  
係長 松永 貢 君
  - ・商工観光課  
課長 堂之下 浩子 君 課長補佐 藺畑 雄二 君  
課長補佐 宮本 裕二 君
  - ・都市建設課  
課長 富吉 良次 君 課長補佐 松田 高明 君  
課長補佐 宮本 裕二 君 係長 中園 修 君  
係長 大野 洋一 君 係長 下澤 克宏 君  
係長 松木 勝徳 君
  - ・スポーツ推進課  
課長 堂之下 力 君 課長補佐 柳原 一夫 君
  - ・水道課  
課長 中野 正市 君 課長補佐 福永 典明 君  
課長補佐 濱崎 久朗 君 係長 田原 勝矢 君
- 8 会議に付した事件
- ・認定第1号 平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について

- （一般会計）
- ・ 認定第 3 号 平成 27 年度阿久根市歳入歳出決算認定について  
（簡易水道特別会計）
- ・ 認定第 7 号 平成 27 年度阿久根市水道事業会計の決算の認定について

9 議事の経過概要 別紙のとおり

## 審査の経過概要

### 牟田学委員長

おはようございます。昨日に引き続き、決算特別委員会を開催いたします。初めに、濱田洋一委員から、きょう、あすの欠席届の提出がありましたので皆様に報告いたします。また、昨日の総務課、認定第4号、交通災害共済特別会計の審査中、答弁の訂正の申し出がありました。また、水産林務課から資料の提出がありましたので、それぞれお手元に配付をしております。なお、昨日の質疑に関し、健康増進課長から発言の申し入れがありましたのでこれを許可いたします。

### 児玉健康増進課長

おはようございます。昨日の認定第2号の審査の中で、竹原信一委員の統合失調症に係る薬代についての質疑につきまして、検討したいということで答弁をいたしました。原課のほう、うちの係のほうで確認をしたところ、現在のシステム上、薬代だけを分離することは難しい、できないということで具体的な数字をお示しできないということでありますので報告いたします。以上であります。

### 牟田学委員長

はい、それでは、竹原信一委員、資料請求の件を。

[発言する者あり]

竹原委員はいいですか、今の。

### 竹原信一委員

はい、わかりました。

### 山田勝委員

財政課はですね、あしたなんですが、あしたんことあした言ったって間に合わんと思いますので、きょうのうちにですね、資料の請求をしておきたいんですが、これは、昨年私が消耗品費をですね、消耗品費を購入する際に実態のない会社から去年買っていると、そういうことではよくないと、阿久根にちゃんとした事業所を持って、店を持ってしているところから買うように、来年も聞きますよという話をば、しましたから、その資料を提出させてください。

### 牟田学委員長

今の件に関して、ほかの委員の方の御意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければこちらのほうで請求したいと思います。

### 仮屋園一徳委員

主要事業の成果説明書ですね、23ページ、5款2項1目、シルバー人材センターのですね、就業状況について、資料の、その場でわからないということで、資料をいただいたんですけど、確かに私は就業日数の多いのと少ないのというふうにお問い合わせをしたんですけど、結果を見てですね、ゼロと276なんですよ、この内容について、もう少し詳しくできれば請求をして欲しいと、何でかって言ったら、この日数だけ書いてあるもんですから、この結果によって、内容的にどうなっているのかも聞かないと内容がほとんどわからないということで、今現在、就業人数は年間を通しての就業者数は幾らなんだ、登録者数は幾らなのか、そしてゼロだったら、ゼロが何人ぐらいいるのか、年間276日というのはほとんど、月に23日ですので、ほとんど毎日なんですけど、こういう人が何人いるのか、その辺の内容がわかるのを資料請求して欲しいと思うんですけど。

### 牟田学委員長

はい、今の件に関して、ほかの委員は。

[「なし」と呼ぶ者あり]

ないですか。ではそのように内容をもうちょっと詳しくですね、含めた資料を、請求をいたします。ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(学校給食センター、教育総務課、学校教育課入室)

## ○認定第1号 平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）

### 牟田学委員長

次に、認定第1号中、学校給食センター、教育総務課、学校教育課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

### 小中教育総務課長

それでは、教育総務課及び学校教育課並びに学校給食センターが所管する分について御説明いたします。まず初めに、新規事業や改良を加えた点、事業執行による行政効果等について説明いたします。平成27年度は、阿久根市民交流センター設計業務について、基本設計及び実施設計業務を進めてきましたが、建設費の高騰や補助金の削減などから、実施設計の見直しを行うこととし、平成27年第3回定例会で債務負担行為の変更を承認いただき、契約の履行期限を平成28年9月30日まで延長し、設計業務を実施しております。学校施設の100万円以上の工事としまして、小学校では、大川小学校講堂天井落下防止対策工事初め合計5件の事業を行い、中学校では、阿久根中学校武道館床改修工事を実施し、学校施設の環境整備に努めております。また、平成27年4月1日に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律に基づき、教育の振興に関する施策の大綱を策定し、あわせて、施策の大綱を推進するための基本的な計画として教育振興基本計画を策定しました。学校教育課では、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ問題対策委員会と、いじめ問題対策連絡協議会の2つを設置しました。いじめ問題対策委員会は、弁護士や大学教授、医師、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等の専門的な知識を有する方々を委員として構成しており、いじめ防止に向けた調査や研究、対策を検討するための審議等を行います。また、いじめに関する重大事案が発生した場合は、その調査機関となります。いじめ問題対策連絡協議会は、学校、阿久根警察署、区長会などの市内各組織の代表者で構成されており、市内におけるいじめの実態などの情報を共有しながら、それぞれの立場でいじめの問題に対応していただくことを目的としています。また、学校給食センターでは、金属検出機を新たに設置し、搬入された食材の検査を行い、学校給食の安全性向上に努めております。

それでは、次に決算内容について、歳出から主なものについて説明いたします。事項別明細書26ページ、決算に関する説明書31ページをお開きお願いいたします。2款1項18目、市民交流施設建設費は、予算現額3,668万9千円に対し、支出済額3,602万5,547円で、98.2%の執行率であります。主なものとしまして、13節委託料3,586万3,200円は、阿久根市民交流センター設計業務の実施設計に係る委託料の当該年度の支払額であります。事項別明細書59ページ、決算に関する説明書56ページをお開き願います。10款教育費、1項1目教育委員会費は、予算現額235万9千円に対し、支出済額223万9,220円で、94.9%の執行率であり、事項別明細書は60ページになりますが、1節報酬212万6,400円の教育委員報酬が主なものであります。2目事務局費は、予算現額1億1,161万9千円に対し、支出済額1億886万8,869円で、97.5%の執行率であります。2節給料から4節共済費までの支出済額は、教育長と職員9名分の人件費であります。8節報償費145万7,034円は、就学相談やスクールガードリーダー等の謝金が主であります。19節負担金補助及び交付金3,635万8,613円は、県教育委員会派遣職員4名分の負担金のほか協議会などへの負担金が主なものであります。決算に関する説明書は、57ページになります。3目教職員住宅費は、予算現額257万8千円に対し支出済額212万1,916円で、執行率が82.3%であります。11節

需用費102万1,120円は、教職員住宅に係る修繕料であります。17節公有財産購入費30万7,800円は、教職員住宅の洗面台やボイラーなどの取替が主なものであります。事項別明細書は、61ページになります。4目教育指導費は、予算現額475万7千円に対し、支出済額466万212円で98.0%の執行率であります。1節報酬389万5,080円は、ALT1名の報酬であります。次に、10款2項小学校費、1目学校管理費は、予算現額1億2,399万9千円に対し、支出済額1億1,915万1,887円で、96.1%の執行率であります。1節報酬1,624万9,450円は、学校図書嘱託員6名と建築技能嘱託員1人8カ月分、学校医8名等の報酬であります。7節賃金1,355万9,400円は、学校用務員臨時職員9人分の賃金であります。11節需用費2,674万7,892円は、各小学校に配分しました学校消耗品や電気水道料の光熱水費のほか、校舎等修繕料が主であります。12節役務費283万725円は、各小学校に配分しました役務費のほか、学校災害賠償保障保険料及び建物総合損害共済基金分担金が主なものであります。13節委託料1,130万8,325円は、市内小学校の警備業務、浄化槽管理業務、樹木伐採業務などの維持管理業務のほか、大川小学校講堂天井落下防止対策工事設計業務が主なものであります。決算に関する説明書は、58ページになります。15節工事請負費2,980万8千円は、補助事業として大川小学校講堂天井落下防止対策工事、単独事業として阿久根小学校ガス埋設配管改修工事ほか2件の事業を実施しました。事項別明細書は、62ページになります。18節備品購入費1,084万4,584円は、各学校に購入した備品で、老朽化により使用できなくなった児童用机・椅子、放送用アンプ、校舎等のカーテンなど、学校管理に必要な備品購入が主なものであります。19節負担金補助及び交付金90万9,345円は、学校管理下における児童の災害に対して給付を行う日本スポーツ振興センター共済掛金負担金が主なものであります。10款2項2目教育振興費は、予算現額7,065万7千円に対し、支出済額6,830万7,561円で、96.7%の執行率であります。7節賃金1,746万8千円は、特別支援教育支援員11名分と理科支援員2名分の賃金であります。11節需用費1,958万7,601円は、市内9小学校の配当予算のほか、コピー代やプリンタートナー代などの消耗品及び備品の修繕料が主なものであります。13節委託料219万1,150円は、脇本小学校に通学する隼人小校区の児童に対する通学バス運行業務と学力・知能検査業務委託料等であります。14節使用料及び賃借料1,414万1,019円は、小学校パソコンリース料や小・中・高合同音楽会、小学校陸上記録会、集団宿泊学習時のマイクロバス借上料が主なものであります。18節備品購入費350万1,880円は、各小学校教材として必要な教材備品や体育備品等のほか必読図書購入が主なものであります。19節負担金補助及び交付金160万4,162円は、市内各小学校で実施している「未来をひらく阿久根っ子」事業及び田代小で実施している山村留学実施事業補助金が主なものであります。決算に関する説明書は、59ページになります。20節扶助費641万1,506円は、特別支援教育児童13名と準要保護児童116名に対する学用品や給食費等の就学援助費の助成であります。

次に、10款3項中学校費、1目学校管理費の予算現額5,401万5千円に対して支出済額5,100万5,191円は、94.4%の執行率であります。1節報酬、800万5,848円は、学校図書嘱託員3名分と、建築技能嘱託員1名の4か月分ほか、学校医5名の報酬であります。7節賃金553万400円は、臨時職員の学校用務員4名分の賃金であります。事項別明細書は、63ページになります。11節需用費1,485万4,398円は、中学校に配分しました学校消耗品や電気水道料の光熱水費のほか、校舎等修繕料が主であります。13節委託料467万3,575円は、各学校の警備業務、浄化槽管理業務、廃棄物収集業務などが主なものであります。15節工事請負費732万2千円は、単独事業として阿久根中学校武道館床改修工事ほか2件の事業を実施しております。18節備品購入費468万8,717円は、鶴川内中学校の生徒用の木工工作台、各中学校の机・椅子、職員用イスなど、学校管理に必要な備品を購入しております。19節負担金補助及び交付金48万9,

520円は、学校管理下における生徒の災害に対して給付を行う日本スポーツ振興センター共済掛金であります。決算に関する説明書は、60ページになります。次に、10款3項2目、教育振興費は、予算現額4,635万9千円に対して支出済額4,362万3,055円は、94.1%の執行率であります。1節報酬の713万3,332円は、学校教育支援教員3人分の報酬であります。7節賃金136万5千円は、特別支援教育支援員1名分の賃金です。8節報償費205万4,985円は、中学校卒業祝い商品券等が主なものであります。11節需用費640万1,514円は、中学校配当予算のほか、プリンタートナーなどの消耗品、教材備品などの修繕料が主であります。13節委託料268万2,200円は、三笠中学校に通学する隼人校区と鶴川内中学校に通学する田代校区の生徒に対する通学バス等運行業務委託料と4中学校の知能検査及び標準学力検査業務料等であります。14節使用料及び賃借料856万3,293円は、4中学校のパソコンリース料、ウェブセキュリティ使用料及び集団宿泊学習時施設使用料及びバス借上料等が主なものであります。18節備品購入費444万6,585円は、鶴川内中学校のサッカーゴールや自然エネルギー発電学習セットなどの教材備品のほか、必読図書を購入費であります。19節負担金補助及び交付金271万1,261円は、地区中学体育連盟負担金15万7,800円の負担金と、市内各中学校で実施している「未来をひらく阿久根っ子」事業に対する補助金82万8,609円ほか2件の補助金であります。事項別明細書は、64ページになります。20節扶助費643万4,553円は、特別支援教育生徒7名と準要保護生徒75名に対する学用品や給食費等の就学援助費の助成であります。次に、10款4項1目、幼稚園費、予算現額71万1千円に対して支出済額42万円は、59.1%の執行率であります。これは、19節負担金補助及び交付金として、未来をひらく「阿久根っ子」事業として市内の私立幼稚園に補助したものであります。次に事項別明細書68ページ、決算に関する説明書64ページをお開き願います。10款6項保健体育費、4目学校給食センター運営費9,669万5千円に対して支出済額9,402万3,150円は、97.2%の執行率であります。11節、需用費1,855万5,769円は、給食センター管理の消耗品等、光熱水費、施設機器類の修繕費などあります。13節委託料4,204万8,365円は、学校給食業務委託料のほか、衛生保守管理業務や排水処理施設維持管理業務などの施設の維持管理に係る業務委託料であります。15節工事請負費523万8千円は、金属検出機等設置工事であります。17節公有財産購入費788万4千円は、蒸気ボイラー1基の取り替えであります。18節備品購入費361万3,140円は、冷蔵庫及び冷凍庫各2台のほか配送用コンテナの購入費であります。

次に歳入について説明いたします。事項別明細書4ページ、決算に関する説明書9ページをお開きください。11款分担金及び負担金、2項3目教育費負担金、1節小学校費負担金及び2節中学校費負担金は、日本スポーツ振興センター共済掛金保護者負担金であり、小学校費負担金が849名分で39万540円、中学校費負担金が448名分の20万6,080円であり、1人460円の負担金であります。

次に、事項別明細書5ページ、決算に関する説明書10ページです。12款使用料及び手数料、1項7目教育使用料、2節小学校使用料37万3,330円及び3節中学校使用料47万5,740円の収入済額は、学校開放における学校屋内運動場の照明施設使用料であります。

事項別明細書9ページ、決算に関する説明書14ページをお開きください。次に、13款国庫支出金、2項9目教育費国庫補助金、2節小学校費補助金の収入済額820万円は、大川小学校講堂天井落下防止対策工事に係る学校施設環境改善交付金及び特別支援教育就学児童の扶助費に対する補助金で、3節中学校補助金の収入済額128万1,400円は、エネルギー教育用教材等備品の交付金事業に係る補助金及び特別支援教育就学生徒の扶助費に対する補助金等であります。

次に、事項別明細書12ページ、決算に関する説明書17ページをお開きください。14

款県支出金、2項9目教育費県補助金、1節教育総務費補助金49万6千円は、スクールガードリーダー配置事業に伴う補助金が主であります。次に、事項別明細書14ページ、決算に関する説明書18ページをお願いします。14款3項9目教育費委託金、1節事務局費委託金31万5千円は、スクールソーシャルワーカー実践研究事業費の委託金です。決算に関する説明書は、19ページをお願いします。15款財産収入、1項1目財産貸付収入、1節土地建物貸付収入の収入済額2,831万8,982円のうち、734万9,640円は、教職員住宅に係る校長・教頭等住宅26軒分の家賃収入であり、同じく15款1項2目1節利子及び配当金の1,357万9,824円のうち、11万2,144円が、教育委員会所管の奨学金貸付基金利子であります。次に、事項別明細書17ページ、決算に関する説明書23ページをお開きください。20款市債、1項1目総務債、1節総務管理債、市民交流施設建設事業債3,580万円は、市民交流センター設計業務費に充当した過疎債であります。

事項別明細書は18ページ、決算に関する説明書は25ページになります。20款1項9目教育債、2節小学校債、小学校校舎等整備事業債1,620万円は、大川小学校講堂天井落下防止対策工事費に充当した学校施設債であります。同じく、5節保健体育債1,630万円は、学校給食センターの金属検出機等設置工事及び施設等更新事業に充当した過疎債であります。歳入については、以上であります。

なお、主要事業の成果説明書の所管事業は、教育総務課所管が104ページから108ページまで、学校教育課所管が109ページから113ページまで、学校給食センター所管が123ページになります。

以上で、教育総務課、学校教育課及び学校給食センター所管の説明を終わります。答弁につきましては、私、並びに学校教育課長でお答えさせていただきますが、不足の場合は、担当係長に補足させますのでよろしくお願い致します。

#### **牟田学委員長**

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

#### **山田勝委員**

決算に関する説明書ですね、56ページの中で、いじめ問題対策委員会とか、いじめ問題対策連絡協議会謝金とかありますけれどもね、阿久根市の小中学校で、いじめはですね、何件くらい発生して、把握していらっしゃるかお尋ねいたします。

#### **久保学校教育課長**

平成27年度のいじめの認知件数、学校が認知した件数になります。小学校が5件、中学校が75件、合わせて80件というふうになっております、以上です。

#### **山田勝委員**

いじめをですね、いじめを原因に、例えば学校を長期休学しているような、学校に登校拒否しているような子供もいるんですか、いないんですか。

#### **久保学校教育課長**

現在のところ、長期の欠席者はおりません。以上です。

#### **山田勝委員**

長期の欠席者はいなくても、いたことはいたんですか。

#### **久保学校教育課長**

はい、学校に時たま休む、そういう生徒はおります。その場合は学校が各学校に出向いたり、電話で連絡をとったりというふうにしております。それから、中には保健室登校とか、そういう生徒もおります。以上です。

#### **山田勝委員**

今はですけどね、2、3年前だと思っんですけどね、阿久根中学校で学校を長期欠席、それが延長で高校にも行けないというような子供もおったかのような話も聞くんですが、事実ですか、事実じゃないんですか。

#### **久保学校教育課長**

その件については、いじめが原因というふうには聞いていないところです。以上になります。

**山田勝委員**

それでは、いじめによって、例えば登校拒否をしない、する子供はいないと言われますけど、んなら、小中学校で登校拒否をしている子供がいるんですか、現在、いや現在ですね、登校拒否をして、学校に行っていない子供がいるんですか。

**久保学校教育課長**

不登校につきましては、現在のところ、小学生が1名、中学生が14名というふうになっております。

**山田勝委員**

その14名の不登校についての原因はなんだと思われませんか。

**久保学校教育課長**

不登校については、さまざまな要因がございます。心身的なものとか含めて、学校への不  
適応とか、そういうものがあるというのは6月の一般質問でもお答えしたところであります。  
以上になります。

**山田勝委員**

んなら、不登校の子供たちは、ずっと不登校しますよね、しかしながら例えば義務教育を、  
中学校の義務教育の年齢を過ぎますと、不登校の子供たち、そのまま引きこもり、家の中に  
いると言うんですか。社会に復帰しないんですか。

**久保学校教育課長**

不登校の生徒が、3年を卒業したあと、その後どうなるかという御質問だと思うんですけ  
ど、それまでの間に高校進学とか、そういうものがありますので、学校としましては登校で  
きるようにということで働きかけをしているところです。で、その結果、今までの事例とし  
まして、私の経験した学校等では、登校できるようになったりという生徒もいます。それか  
ら、高校に行ってから登校できるようになった生徒、そういうのも今まで経験しております。  
私のそれは経験上のことです。以上です。

**山田勝委員**

非常にね、難しい問題だけどね、実態を聞かないかんとって、こう聞くんですがね、も  
うなかなか家庭においてもですね、その関係者においてももう大変な問題だと思いますよ。  
だから学校の責任、どこの責任かと言ったら、家庭の責任かなという気もしますけどね、昔  
は家よりも学校のほうがよかったから、学校に不登校というのはほとんどいなかったん  
ですけどね、近ごろは学校よりも家のほうが楽しいんだらうなあという気もしますよ、しかし  
ながらこれを解決するというのは非常に難しいですので、ま、現状を把握しただけで結構で  
ございます。

**牟田学委員長**

はい、ほかにありませんか。

**渡辺久治委員**

10款2項1目、成果説明書では、105ページ、一番下の小学校舎維持補修事業の阿久  
根小学校のガス配管改修工事で、ポリエチレン管に布設替えとなっておりますけれども、こ  
れはなぜ布設替えになったんですか。

**小中教育総務課長**

渡辺委員にお答えいたします。この事業につきましては、阿久根小学校と、阿久根中学校  
の2カ所を実施しているんですけれども、ここの2カ所については、都市ガスが入ってきて  
おりまして、都市ガスの、学校から先の管が、ガス管が白管というか鋼管の金属の管とい  
うことで、サビ等、あるいは腐食等があつて耐震に耐えられないという状況がありましたので、  
これはもう文部科学省からと、経済産業省からも通達が来ておりまして、平成27年度まで  
にこのポリエチレン管に替えなさいという改善命令が来てましたので、それに対応して改修

をしたというところであります。以上です。

#### **渡辺久治委員**

学校でガスを使うのは理科実験室と家庭科室だと思うんですけども、ほかの学校はどうなっておりますかね。

#### **小中教育総務課長**

この阿久根小学校、阿久根中学校以外はプロパンでしておりますので、特に埋設配管があるというわけではありません。

#### **渡辺久治委員**

プロパンであっても埋設しているところもあるかと思うんですけど、埋設はないですか。

#### **小中教育総務課長**

すいません、説明が不足しておりましたけれども、埋設、もちろんプロパンから、例えば家庭科室の配管、校舎内の配管というのがありますけれども、校舎以外の、施設内の配管というのは都市ガスだけでしたので、この阿久根小、阿久根中をしたということで、ほかの学校については校舎内の近くにプロパンがありますので、そこから校舎内の施設の配管はあるというところですよ。

#### **渡辺久治委員**

都市ガスは、地中を掘っていける場合があるんですけど、プロパンは地中にいけることはなくても、床下を通るといえることはあるんですよ。そういった場合に、今は普通の家庭は、一般家庭は微量のガス漏れがあった場合は、探知できるようなメーターになっているんですけども、学校の施設はそういうメーターになっていますかね。

#### **小中教育総務課長**

はい、そのようになっています。

[渡辺久治委員「あ、なっていますか」と発言あり]

[小中教育総務課長「はい」と発言あり]

[渡辺久治委員「全て」と発言あり]

[小中教育総務課長「はい」と発言あり]

#### **仮屋園一徳委員**

10款2項1目と10款3項1目の、事項別明細のほうは61ページ、小中学校の管理費について伺いますけれども、成果表の中にですね、学校からの要望に基づきというふうに出て来ているんですけど、学校からの要望は、どこの学校からも要望は出て来ていると思うんですが、その要望に対して、どの程度できているのか、もう全部できているのか。それ、もう要望の中でも、もう少しはまだなくてもいいよということも含めて、その小学校、中学校ごとに状況を教えてください。

#### **小中教育総務課長**

学校からの、備品につきましては学校の要望に基づいて実施しているところですが、備品関係につきましては、平成27年度の要望段階で、小中学校の合計になりますけれども、229件の要望がありました。そのうち、備品として予算化したのが171件ということで、実施率といたしましては、74.7%で、全てが予算化できているわけではございませんけれども、特に生徒たちが使う備品等については優先的に予算化したというところがございます。

#### **仮屋園一徳委員**

要望の内容についてです。年度についてですけど、毎年、要望は上がってきて、170件してもまたふえていくという、そういう状況なんですかね。

#### **小中教育総務課長**

備品については、かなり老朽化している部分もありますので、年次的に買い替えをしても、また次の部分が出てきたりしますので、例えば机・椅子等につきましても、一度に中学校であれば3学年分購入するというのはなかなか財政的にも難しい部分がありますので、

例えば今年度は1学年、次の年は2学年という形で学年を区分して要求したりしておりますので、整備しておりますので、そういう段階で整備をしているという状況です。

**仮屋園一徳委員**

100%というのは難しいと思うんですけど、できるだけ要望に応えられるように努力をして欲しいと思います。以上です。

**牟田学委員長**

はい、ほかにありませんか。

**野畑直委員**

10款2項1目、小学校管理費。

**牟田学委員長**

何ページになりますか。

**野畑直委員**

成果説明書でお願いします。108ページとこの小学校のほうと中学校のほうを伺いますので、10款2項2目教育振興費の脇本小学校通学運行業務についてですね、今、この通学は何人運んでるというか、生徒はいるんですか。

**小中教育総務課長**

脇本小学校の通学バス運行業務につきましては、隼人小校区の児童を運行しているということで、対象者は2名になります。小漣集落から1名、八郷集落が1名で2人とも小学2年生の女子になります。以上です。

**野畑直委員**

学校は、脇本小学校ということでもいいですか。

**小中教育総務課長**

隼人小が脇本小学校と統合になった時に、その時に地区のほうからの要請に基づいて運行するということでありますので、学校につきましては、脇本小学校のほうに通学しています。

**野畑直委員**

書き方がですね、学校まで遠距離であるためとしてあるものですから、脇本小学校までということを書いてあれば聞かなかったんですけども、これはもうそれで、脇本小ということでもわかりました。次に中学校も同じ運行業務がありますけど、10款3項2目教育振興費の中で、この生徒数も教えてください。

**小中教育総務課長**

三笠中学校につきましては、対象者が1名ということで、1学年の女子生徒が八郷から通学しております。先ほどちょっと説明不足で申しわけありませんけど、運行してくるのは、集落からタクシーの会社のところまで運行しますので、そこからは歩いて行くということになります。あと、朝の登校につきましては、先ほどの小学校の生徒と一緒に登校してくるということになります。以上です。

**野畑直委員**

今、隼人中学校から1人、田代中学校はいないんですか。

**小中教育総務課長**

申しわけありません。田代につきましては、鶴川内中学校のほうに対象者が2名、1年生の女子が1人、それから3年生の女子が1人、尾原と田代中からそれぞれ1人通学しております。以上です。

**牟田学委員長**

いいですか、はい、ほかに。

**竹原恵美委員**

学力についてお尋ねします。説明書の58ページで、これは小学校のほうですが、10款2項2目、学力知能検査業務、中学校のほうはページ60ページで10款3項2目、同じ内容です。学力の状況、わかること、内容を教えてください。または、資料をください。

**牟田学委員長**

竹原委員、もう一回ゆっくり。ちょっと聞こえづらいから。マイクを寄せて。

**竹原恵美委員**

昨日もうお願いしてた、直接もうお願いしてたんですが、学力についてわかるもの、わかる状況のものを教えてください。

**久保学校教育課長**

学力について、標準学力検査の27年度の結果ですけど、全国と比較して小学校はやや良い結果を示しております。中学校では、やや下回る状況でありました。標準学力検査の結果は以上です。

**竹原恵美委員**

例年請求しています、資料の形で、資料をください。では、その状態に対して課題、改善などはありましたでしょうか。課題を見つけた、そして改善点をどういうふうに対応したというものはありますか。

**久保学校教育課長**

課題については、やはり今基礎的な力と、それからそれを活用する力、その両方が求められておりますけど、やはり基礎的な力、そういうものを子供たちに身につけた上で活用する力をつけていかなければいけないというふうに考えております。そのために、管理職研修会等を通じて問題点の課題のあったところとか、そういうところを指導しているところです。以上です。

**竹原恵美委員**

今、おっしゃったのは、指導員のほうの研修会であって、子供たちに対しての大きな違いとか、その課題を見つけて、対応しているというのは、内容としては紹介はないですか。先生に対する研修はわかりましたけれども、子供たちに接する中での違いというのは出てこないですか。

**久保学校教育課長**

今の質問は、子供たちに対する指導ということによろしいわけでしょうか。まず、教員が授業を改善するということ、そういうことが大事じゃないかというふうに思っております。それから学校によっては、基礎的な力をつけるためにドリルまたは暗唱、教科書の暗唱とか、そういうものを子供たちに指導しているという学校もございます。以上です。

**牟田学委員長**

いいですか。教育課長、資料の提出をお願いします。後でいいですけど。はい、ほかに。

**白石純一委員**

何カ所かあったと思うんですけども、補助金で当然学校施設を修理したり建てたりされたりしているんですけども、学校施設の場合は補助金適正化法の適用はあるのでしょうか。具体的にはたとえば廃校になるとか、あるいは統合になるとかいったときに残る建物についてですね、そういう適化法の制限はかかるのでしょうか。

**小中教育総務課長**

補助金を国のほうからもらうと、補助金適化法に係る施設になると思いますけど、それが統廃合に伴ってその施設をどんなふうな活用の仕方をするかということでも変わってはくると思いますけど、ちょっと手元に詳しい資料持っておりませんが、詳しい説明はできませんけれども、そういう状況だと思います。

**牟田学委員長**

いいですか、ほかにありませんか。

**山田勝委員**

決算に関する説明書ですね、31ページの市民交流センター建設費に関連をしてですね、お尋ねしたいんですが、実は先の9月議会で市民交流センターの債務負担行為を提案されてですね、結局合計17億3,300万円の債務負担行為をされたわけですが、これは本体工

事だということなのですが、いよいよ、市民交流センターが現実に着工するわけですが、ちょっとこじつけかもしれませんが、まずね、いつごろ入札をして、そして財源区分を何遍となく委員会をしましてね、20億以下で抑えるという約束をしていただいたんですよね、その中で、例えばいつごろ入札をして、そしていつごろ着工をして、そして財源はこうこうこういうことだというふうに既にわかっていると思うんですが教えてください。

#### 小中教育総務課長

市民交流センターにつきましては、先の議会で債務負担行為に御承認いただきましたので、現在入札の手続について準備を進めているところであります。この準備が整い次第、入札の公告を始めることとなりますけれども、この目標としているのが、10月の末から11月の初めぐらいまでには公告ができればというふうに考えております。その後、公告期間が60日程度かかりますので、入札等しまして、仮契約をして議会の御承認をいただくということになりますけど、これが年をまたいで来年の初めぐらいになるのではないかと考えております。それが御承認いただければ着工ということですので、本年度の末には着工したいというふうに考えております。したがって、竣工が平成30年度の半ばぐらいには竣工できるのではないかと考えております。ただあと、その外溝工事につきましてはその本体の工事の進捗に合わせて30年度に外溝工事、それから解体工事等はその建物の建った後に解体工事、これも30年度になると思いますけれども、そういった予定で進んでいくというふうに考えております。以上です。

[発言する者あり]

大まかな財源につきましては、20億ということでありましたので、20億のうち、6億が国の補助金ということになります。この6億のうち、3億円が社会資本整備総合交付金ということをご予定しております。それから残りの3億が原発の関係の交付金を予定しているところでございます。それから、12億が市民交流の施設整備基金を積み立てておりますので、12億は基金、それから残りの2億が一般財源、市債、起債を活用するというご予定をしております。以上です。

#### 山田勝委員

なら、あなたは入札は今年度末ということ、12月ですか、1月ですか、それとも3月までにあるということですか。

#### 小中教育総務課長

今後の入札の準備次第ですけれども、公告の時期によりますけれども、入札はその予定どおり進むと、ことし末には入札できると。

[「発言する者あり」]

12月、はい。

#### 牟田学委員長

はい、ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、認定第1号中、学校給食センター、教育総務課、学校教育課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

この際、暫時休憩します。

(学校給食センター・教育総務課・学校教育課退室)

(休憩 10:54～11:05)

(生涯学習課入室)

#### 牟田学委員長

休憩前に引き続き委員会を開催します。次に、認定第1号中、生涯学習課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

## 中野生涯学習課長

平成27年度、阿久根市歳入歳出決算一般会計中、生涯学習課所管の事項について御説明いたします。まず初めに、平成27年度中の新規事業や事業執行による行政効果等について、主要事業の成果説明書に基づき御説明申し上げます。主要事業成果説明書の114ページをお開きください。一番上から、社会教育総務費の事業では、例年、地域社会教育活動事業としての生涯学習講座を開設しておりますが、平成27年度は一般を対象とする生涯学習講座を23講座、学校・PTA活動と連携をとった家庭教育学級は13学級、区ごとに開催される高齢者学級は16学級を開催することができました。生涯学習講座では、鶴翔高校の協力を得て開催するアグリ講座や軽運動のニュースポーツ、ラージボール卓球等が人気を集めているところです。また、地域の歴史・文化財を巡る「阿久根のまち探検」では、郷土史家の東川隆太郎先生の解説案内で、楽しく郷土の歴史を学ぶことができました。同ページの下段、キッズスクール夏合宿、阿久根自然体験楽しみ隊は、昨年度初めて取り組んだものであり、小・中学生14名が、夏休み期間中に、青年の家を拠点に3泊4日の宿泊体験学習を行いました。カヌー体験や川遊び等を通して郷土の自然に触れ、さらに共同生活を通じて規律や互いを思いやる気持ちを育むよい機会となったと考えます。115ページの下、第30回国民文化祭あくね洋画展・第17回あくね洋画展・丹宗律光展を昨年10月31日から11月8日にかけて総合体育館及びにぎわい交流館あくね駅で開催しました。あくね洋画展には、県内外から多くの出品をいただくとともに、期間中3,600人を超える来場者がありました。また同時期に、郷土の日本画家、丹宗律光氏が残した植物画集、丹宗律光画集の原画と拡大パネルを展示した「丹宗律光展」を開催し、来場者に本市の植物・自然についてもPRを行ったところでございます。116ページに移り、平成27年度の自主文化事業として、腹話術のパフォーマンスショー「いっこく堂スーパーライブinあくね」と、児童演劇「かぐや姫」・「やぎのお話」を開催いたしました。市民の皆さんが生演劇等を鑑賞する機会づくりに取り組んだところでございます。その下の段の、一般コミュニティ助成事業として、自治総合センターの助成事業を活用して「あくね毘沙門太鼓響流」に対し、太鼓等の備品整備・購入補助を行ったところでございます。117ページに移りまして、自治公民館整備事業として、平成27年度はそこに記載のとおり、馬見塚、大川島、中村、竹之迫、大丸、上原、次の118ページに入り、下村、桑原城下の合計8自治公民館の改修工事に補助を行ったところであります。内容は、施設の老朽化による修繕やエアコン設置やトイレ改修などの環境整備が主なものでございます。118ページの中段になりますが、防災拠点等への再生可能エネルギー等導入推進事業を活用して、協本地区公民館に太陽光発電パネル、蓄電池及びLED設置工事を行い、災害時の避難所機能の強化を図ったところでございます。119ページに移りまして、平成27年度も引き続き、市立図書館及び郷土資料館の管理運営を、NPO法人ふれでおを指定管理者として委託したところでございます。

以上で、成果説明書での説明を終わり、次に、歳入歳出決算事項別明細書と決算に関する説明書に基づき御説明いたします。初めに、歳出から御説明申し上げます。事項別明細書は24ページ、決算に関する説明書は29ページをお開き願います。2款総務費、1項12目市民会館管理費は、予算現額1,494万4千円に対し、支出済額1,321万2,497円で、88.41%の執行率であります。4節共済費及び7節賃金は、市民会館警備員2名及び窓口事務補助員1名分の賃金及び社会保険料であり、13節委託料の支出済額338万1,366円は、説明書の備考欄に記載の音響・照明設備保守点検業務ほか8件の委託料であり、不用額はその入札執行残であります。事項別明細書は64ページ、説明書は60ページをお願いします。10款教育費、5項1目社会教育総務費は、予算現額7,612万円に対し、支出済額7,216万6,250円で、94.81%の執行率であります。1節報酬は、社会教育指導員5人ほか3件の委員報酬であり、2節給料、3節職員手当、4節共済費は、職員7人分の人件費であります。8節報償費は、あくね洋画展審査員謝金ほか3件の講師謝金等であり、不用額は説明書の備考欄に記載してあります謝金等の執行残であります。

13節委託料は、市内の小・中学校13校で実施した家庭教育学級や自主文化事業など7件の委託料であります。自主文化事業につきましては、成果説明書のほうでも説明いたしましたが、小学生から一般向けとして「いっこく堂スーパーライブ in あくね」と、幼児及び小学校低学年児童向けとして児童演劇「かぐや姫」・「やぎのお話」の公演を行いました。

「いっこく堂スーパーライブ in あくね」については、前売り券大人1千円、小・中・高校生券500円でチケット販売を行い、知名度の高さから667名の入場者があったところです。14節使用料及び賃借料は、文化祭や自主文化事業時の音響設備借り上げ料等がありますが、不用額は、当初予算において文化財発掘調査用の重機借り上げ料を計上しておりましたが、平成27年度は市内において発掘調査の案件がなかったため、重機等の借り上げ料が不用となったことによる残であります。17節公有財産購入費は、歌人・与謝野晶子が阿久根大島に関して詠んだ句の歌碑を、戸柱公園内に設置したものであります。なお、当該歌碑の設置と同時に、以前より戸柱公園内に設置してあった与謝野鉄幹の歌碑についても、石の表面をきれいに研磨し、改めて字を入れ、文字を見やすくする修繕を行ったところであります。19節負担金補助及び交付金は、説明書の備考欄にありますとおり地区視聴覚教育協議会や国民文化祭実行委員会ほか5件の負担金と、校外生活指導連絡協議会ほか8件の補助金であり、一般コミュニティ助成事業は成果説明書でも説明しました、自治総合センターの助成事業を活用した「あくね毘沙門太鼓響流」の太鼓等の備品整備への補助であります。事項別明細書は64ページから65ページ、説明書は61ページから62ページにかけてお願いします。2目公民館費は、予算現額5,534万6千円に対し、5,487万4,388円の支出済額で99.15%の執行率であります。4節共済費及び7節賃金は、脇本地区公民館警備員2名分の雇用保険料及び賃金であります。11節需要費の支出済額396万2,887円は、大川・脇本地区公民館の光熱水費が主なものであり、不用額は、その残額が主なものであります。13節委託料の支出済額491万2,509円は、脇本、大川地区公民館の館内清掃業務ほか4件の委託料と、脇本地区公民館の太陽光発電システム等設置工事の監理業務及び設計業務委託料が主なものであり、15節工事請負費の4,185万円は、脇本地区公民館への太陽光発電・蓄電池及びLED設置工事費であります。19節負担金補助及び交付金の支出額135万1,500円は、先ほど成果説明書で御説明いたしました、自治公民館8カ所の改修工事補助が主なものであります。3目図書館費は、予算現額3,625万2千円に対し、3,580万5,050円の支出済額で98.77%の執行率であります。13節委託料は、指定管理者NPO法人ぷれでにおに委託した図書館及び郷土資料館の管理運営委託料2,380万円と、市民交流センターの建設規模縮小に伴い、新市立図書館の設計変更を平成28年9月まで延長したことに伴い、平成27年度分の委託料を前払金として支払った750万円が主なものであります。18節備品購入費は、図書館の図書購入費であり、平成27年度は2,456冊の図書を購入しており、年度末蔵書数は、8万1,550冊であります。25節積立金は、東海・近畿及び関東の各地区阿久根会等からの寄付金合計37万3,200円とその預金利息2,714円を読書推進基金として積み立てたものであります。なお27年度末の基金残額は、1,240万1,624円であります。事項別明細書は65ページから66ページにかけて、説明書は62ページになります。4目青年の家管理費は、予算現額443万2千円に対し、412万5,760円の支出済額で93.09%の執行率であります。11節需用費345万7,635円は、青年の家の光熱水費のほか、老朽化した温水シャワー用のボイラー取替修繕費用が主なものであります。13節委託料58万3,680円は、青年の家管理業務のほか3件の委託料であります。

以上で、歳出に関する説明を終わり、続いて歳入についての説明に入ります。歳入は、決算に関する説明書で御説明いたします。決算に関する説明書の9ページをお開き願います。

12款使用料及び手数料、1項1目総務使用料の収入済額161万2,288円のうち、生涯学習課所管分は、備考欄に記載してあります、市民会館使用料77万886円であります。説明書は、11ページになります。7目教育使用料の備考欄に掲載してあります、社会教育

使用料の収入済額37万8,400円は、脇本・大川地区公民館及び青年の家の使用料であります。説明書19ページをお開き願います。15款財産収入、1項財産運用収入、2目の利子及び配当金の収入済額のうち、生涯学習課所管分は、備考欄の上から9行目の読書推進基金の利子2,714円であります。説明書20ページになります。16款寄付金、1項10目教育費寄付金の社会教育費寄付金の収入済額47万3,200円は、備考欄に掲載してありますとおり、読書推進費として近畿・東海・関東各地区阿久根会、東海地区阿久根会洋子会及び1個人から合計37万3,200円、阿久根市文化協会から市民交流施設整備費として10万円の寄付金をいただいております。説明書は21ページから23ページになります。19款諸収入、5項4目雑入、20節雑入の収入済額1億2,680万3,535円のうち生涯学習課所管分は、169万7,593円あります。主なものは、説明書の21ページの備考欄、雑入の一番上の雇用保険料のうち、生涯学習課所管分は、社会教育指導員5名と臨時職員1名、市民会館警備員2名、脇本地区公民館警備員2名の雇用保険料7万2,203円あります。その下の書籍代35万7,200円は、郷土史売上げ料であります。22ページに入りまして、5行目の私用電話料は、市民会館に設置してある公衆電話使用料であります。その下11行目、自主文化事業入場券販売収入59万6千円は、自主文化事業「いっこく堂スーパーライブinあくね」におけるチケット販売収入であります。その下2行目の、あくね洋画展出展料31万2千円は、あくね洋画展の一般の部における絵画172点の出展料であります。同じくその下4行目、原子力立地給付金165万2,724円のうち、生涯学習課所管分は29万3,280円であり、所管する市民会館や図書館、脇本・大川地区公民館などに対する給付金であります。説明書23ページに移りまして、ちょうど中ほど、キッズスクール参加料5万6千円は、1名当たり4千円の14人分の参加料でございます。

説明中、歳出の部の公民館費のところ、予算減額支出済額を5,487万4,338円と申し上げましたが、5,487万4,388円の間違いでした。訂正いたしたいと思いません。以上で、歳入歳出決算につきまして説明を終わりますが、答弁に関しましては、私、課長補佐及び担当係長にてお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

#### 牟田学委員長

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

#### 竹原信一委員

私の聞き間違いかもしれないけど、太陽光発電について小学校というふうに言ったような、聞こえたんですけども、私の聞き間違いですよ、たぶん、これは太陽光発電は脇本公民館だけです。

[中野生涯学習課長「はい」と発言あり]

じゃあいいです。

#### 牟田学委員長

いいですか、はい、ほかにありませんか。

#### 白石純一委員

成果説明書の114ページ、10款5項1目社会教育総務費の一番下の段、キッズスクール夏合宿ですが、実は私、本年のですね、キッズスクールに一日飛び入り参加させていただきました。子供たちと遊んで大変有意義な企画だと思いました、そこでちょっとお伺いしたいのは、まあこれは去年のことですけども、カヌー体験、五色ヶ浜の青年の家の前でやられたと思いますが、それ以外も川遊び、登山、施設見学等とありますが、具体的にはどういったところでやられたんでしょうか。

#### 中野生涯学習課長

カヌー体験につきましては、BGからの艇庫がありますけれども、あのカヌーを使っただけでカヌーを体験させるところでございます。川遊びにつきましては、昨年度につきましては、尾崎区のほうの公民館の下の川があるんですけども、あそこでいわゆるじゃぶじゃぶ川を

上ったり、あるいは川魚を釣ったりとかという体験をいたしました。ことしにつきましては、田代の小学校から上流のほうに川を上るといような企画をして楽しんだところです。それから山登りににつきましては、昨年は1回目だったんですけども、笠山の上まで登って、下に降りて来るという、笠山の登山縦断をやったところです。ことしにつきましては、憩いの森のですね、登山というように形で下のほうから2時間ほどかけて縦断するというようなことを取り組んだところでございます。以上です。

#### 白石純一委員

施設見学とありますが、特に。

#### 中野生涯学習課長

施設見学は、昨年、施設見学を行いまして、栽培漁業センターと広域のじんかい処理場のリサイクルセンターのほうを見学をしたところでございます。ことしは施設見学は特段そこは行いませんでした。

#### 白石純一委員

大変有意義なイベントだと思うので、ぜひ今後も発展させていただきたいと思うんですけども、阿久根大島ですとか、脇本海岸、これは多分家族でも行かれた生徒さんが、児童さんが多いと思うので、あえて行かれなかったのかなと思いますが、また阿久根大島については船のスケジュールとか、費用の問題もあるかとは思いますがですね、やはり阿久根大島、あるいは脇本海岸といった阿久根を代表するところで、海水浴ということもまた家族と違って、友達同士で、子供だけで遊ぶということもおもしろいと思いますので、その辺も検討していただけたほうがいいのかと思った次第です。で、もう一点、これは市内の小中学生だけということですけども、たとえばそのじいちゃん、ばあちゃんのところに、特に都会から帰って来た子供たちにとっては大変魅力のある活動だと思いますので、そういった子供たちにも門戸を広げていただきたい、そして、キッズスクール夏合宿、名前なんですけど、キッズスクール、子供の学校というのは大人から見た目線ですね、子供が果たしてキッズスクールと夏休みに学校に行きたいだろうかと思います。実は海外ではこういった催しは大変盛んで、こういったイベントのことを一言でサマーキャンプと言います。サマーキャンプと言えばですね、都会から地方に子供たちが押し寄せるという人気のアクティビティでございます。そういったネーミングも含めてぜひ今後も発展していただければと思います。よろしくお願いします。

#### 牟田学委員長

いいですか。

#### 中野生涯学習課長

今の御意見に対しまして、キッズスクールの夏合宿につきましては、ふだん体験できないようなことを小学生、中学生のうちには何か一回でも体験してもらおうということで始めたところでございます。既に行った施設等々についてはですね、この前行ったよとかいう意見もあってですね、なかなかうまくいかないところもあるんですから、川遊びについてはふだんもう見逃している箇所を使ったりとか、それから山登りにしてもふだんはそういうことはしないよねというようなところをですね、重点的に計画を組んだところであります。また、名称等についてはですね、またいろんな検討事項もありますので、検討させていただきたいと思います。それから市外からの参加というようにところがあるんですけども、一度検討はしたんですけども、実際のところ参加料4千円取って、それでまた支出が、いわゆる公金のほうから市内の公金からするというですね、一旦はもう市内だけの参加に限らせてもらおうじゃないかという協議をして、ことしもそういった結論は出したところでした。

#### 白石純一委員

最後に、確かにそういう懸念があるのは確かだと思いますけれども、市外の方には多少参加費を高く負担してもらってもいいのかなと思います。また、阿久根大島は海水浴場にはほとんど行かれたと、生徒さんは行ってると思いますが、裏のほうですとかですね、一周、遊

歩道も整備されて、終わっているかどうかわかりませんが、そういったところも、また新たな目線で阿久根大島を見ていただきたいと思いますので、そういったところも検討いただければと思います。以上です。

#### 中面幸人委員

成果説明書のですね、117ページ、10款5項2目の自治公民館整備についてお聞きします。個別に言ってもよろしいかと思うんで、たくさん人間でこう考えたほうがまたいい知恵も出るかもしれませんので、せっかくですでお聞きしたいと思います。

それぞれのですね、地区の公民館がですね、世帯数が多かったりとか、お金を持っている地区であればですね、新しく建て替えたりするんですけども、やはり人数は高齢化が進んだり、世帯数が少なかったりすればですね、なかなかもう年金暮らしになれば、なかなか負担も難しく、だったらどうしようかなと言って、もうやっぱりそれぞれ地区によっては考えているところもあると思うんですが、特に私が住んでいるところもなんですけれども、新しく建て替えるのはもう難しいよねと、そうした場合に、部分的に補修していく方法を考えた時ですよ、例えば屋根の補修であったり、外壁、内壁の補修または昔の汲み取りの深いトイレで子供たちが恐れるんですね、そういうのを整備、または今度はエアコンの問題とかあるんですけども、そういうことを考えたときですよ、こういうふうにそれぞれの地区もやっているんですけど、これは例えば何年か、3年計画くらいで、例えば仮に部分的に補修していく場合に、できるものか、そして補助の割合ですね、その辺あたりをちょっと教えていただけないか。

#### 中野生涯学習課長

今、市内にある自治公民館に対しましてですね、この補助事業については、事業費の30%ということで補助を行っているわけですけども、いわゆる区長さんのほうから、前年度に大体の見積もりをとっていただいて、申請をしていただくわけですけども、補修が必要かどうかという件については、その区長さんなり、自治会の方たちによって判断して、今予算がこれだけ区費があるからというような形です。その補修をやるかどうかの判断はですね、区のほうにお任せしている段階ですので、うちのほうから何年かかけてここ全部をやるというような形にはなっていないところでございます。その区のほうで予算的な関係もございまして、一度にやれるのが一番よろしいんですけども、その部分については年次的に区がやるというようなことであればですね、連続でも今は何もそれを受け付けないということにはなっていないところでございます。ですので、区の中で、申請をしていただいて、うちのほうで予算がつけばですね、それは実行していただくという形になるかと思っております。

#### 中面幸人委員

それとあとですね、トイレなんですけど、トイレもせっかくだったら浄化槽とか、水洗のほうがいいわけですけども、それについても全くこの30%の中でしかできないものですか。

#### 中野生涯学習課長

今、委員がお尋ねのところですけども、工事の種類によって、その%を、上下をするという取り扱いに今なっておりません。一律、事業費の30%という形になっているところでございます。

#### 中面幸人委員

それとあとエアコン等もこう載っておりますけれども、エアコン等についても、やっぱり、いわば、品物代、工事まで含めた中の30%でしょうか。

#### 中野生涯学習課長

はい、そうです。エアコン等については公民館等広いところがありますから、家庭用については安くも上がるからというところもあるんでしょうけれども、やっぱり畳が広くなると額が大きくなります。補修等についてはですね、1件10万円以上の事業がこの対象に入っ

てくるということですので、事業費的に10万を超える場合に申請をしていただいて、その3割を補助するという形になります。

#### 中面幸人委員

もうやはり、お願いになるわけですがけれども、仮に3年計画やっても、1年で一遍にやってもかかるお金は一緒なんですよ、そうした時にやはりこの30%というのをですね、もう少し上げてもらいたいという気持ちがいっぱいなんです。例えば、新しく新築する場合は、市のほうの補助というのは50%でしょうかね。

#### 中野生涯学習課長

いわゆるこの補助の要綱については、新築、改築、増築、補修なんですけれども、これにいくりで30%というふうになっております。今、整備の事業ではですね、いわゆる今度新築となると、多額の予算が必要になりますので、その時にはコミュニティ助成事業とか、そちらのほうの活用というのが例年そちらのほうを使われるというところが大きいかと思えます。

#### 牟田学委員長

いいですか。

#### 中面幸人委員

最後になりますが、ぜひですね、なかなかもう先ほどから言いますように、高齢化が進んで、年金暮らしのそういう時代になっていきますので、ここらあたりでですよ、やはり改修についてもですね、この30%というのをぜひ行政側のほうでですね、御検討いただいて、やはり早めに上げていただくように努力をお願いして、要望として終わります。

#### 竹原信一委員

決算に関する説明書の62ページ、この太陽光発電の件なんですけれども、結局ここは、売電はしないんですね。

#### 中野生涯学習課長

はい、ここについては売電はしておりません。

#### 竹原信一委員

それと、この工事にあたってですね、まず、もともとある屋根にそれを載せたわけですが、追加で屋根の補修とかいう工事は出てこなかったんでしょうか。きれいにしてからじゃないと載せられないことになったはずですがけれども。このそもそも太陽光発電工事だけではなくてね、それを載せるところの部分も含まってたんじゃないかなあ、やるべきじゃないかなというふうに思うわけですよ。基礎がおかしくなれば、太陽光は持たないわけですからね、雨漏りがしたり、なんだりする、そういう点検及び工事というのは追加されなかったのかな、どうですか、その件については。覚えていない。じゃあ後でいいよ。

#### 牟田学委員長

あとからでいいですか。

[竹原信一委員「はい」と発言あり]

はい、わかりました。ほかに。

#### 野畑直委員

決算に関する説明書の20ページ、16款1項10目教育費寄附金でですね、文化協会のほうで、交流センターの寄附金をということで、これまでされております。いよいよ今年度中に着工、契約、着工という予定のようですがけれども、この文化協会が、最初に寄附された年度ってわかりますか。

#### 中野生涯学習課長

申しわけありません。文化協会ですね、こちらの寄附の先が交流センターの施設整備のほうに回されておまして、整備費のほうは自分たちのほうで把握をしていないところでございます。申しわけございません。資料がございません。

#### 野畑直委員

今聞いてわからない部分についてはいいですけども、資料としてどこかにあるはずですので、また後もってでいいですけども、教えてください。

それと平成27年度で10万円の寄附ということで、この金額を超えた累計の寄附額はわかりますか。

#### 中野生涯学習課長

今、資料がございませんので、また後もって答えさせていただきます。

#### 野畑直委員

あのですね、500万円ほどということで、我々としてもいよいよ着工ということになるのに、500万円ぐらいとかそうじゃなくて、これまではっきりと幾ら何年から寄附をされていう数字がやっぱり知っておくべきだと思いますので、今でなくていいですので後もって教えてください。終わります。

#### 牟田学委員長

いいですか、ほかに。

#### 大田重男委員

主要事業成果説明書のところなんですけど、ページ数は114ページ、10款5項1目社会教育総務費の一番上のですね、地域社会教育活動、この中で生涯学習講座ってあるんですけど、この中でアグリ講座が非常に人気があるんだと、だからこれで申し込んだ人が何か抽選があるという話を聞いているんですけど、それは本当ですか。

#### 中野生涯学習課長

やはり、大人数になるところにつきましては、抽選という形をとらせていただいているところがございます。やはり一講座ですね、講座にもよるんですけども、20名を超えてくると、やはりそこが把握できないとか、材料とか準備するものについてもですね、用意ができなくなる、十分な対応ができなくなるということで、ある程度の、それを超えてもある程度の対応ができるところまではやるんですけど、それを大幅に超えていくともうそれは抽選という形をとらせていただいております。

#### 大田重男委員

私もですね、自分の知り合いの人はですね、最近定年退職してですね、家庭菜園をたくさんつくっている人がいるんですよ、今まで仕事をしていて、そういった経験がない人が最近自分で家庭菜園をつくと、そこでこういったアグリ講座なんかに入れたらいいなという話だったもんですから、なるべく人気のあるですね、こういった講座というのは生徒数をですね、枠を広げてもらえたらと思います。以上です。

#### 牟田学委員長

いいですか、ほかに。

#### 竹原恵美委員

成果説明書の118ページです。10款5項2目、脇本地区公民館に対するLED、蓄電池、ソーラーの設置です。その電力に対する効果を教えてください。

#### 中野生涯学習課長

本事業につきましては、避難所の施設強化ということで、自立、分散型のLEDシステムをここで使おうということで、ここで例えば停電、災害待機に際した場合の停電の時にこういうシステムがあればということで設置をしたところがございます。本年度3月に完成しておりますので、それ以降についてじゃあ停電があったかというところはないところでございます。効果としてはそういったところがございます。

#### 竹原恵美委員

運営はそのあと、電力の効果、毎月その館内の消費はその上積みの中で利用しているということで、4月以降は数が出てくるということですね。わかりました。

#### 中野生涯学習課長

今、竹原委員のほうからは、電気料等の効果ということで、よろしいですか。

今、平成28年度の上半期分で集計をとったところでございます。料金につきましては、平成27年度の上半期、4月から9月分までにつきましては、平成27年度上半期は、89万2,726円、平成28年度の上半期につきましては、67万7,472円、計算をしますと21万5,254円の減ということになっております。それから、電力量、消費電力量なんですけれども、27年度は、上半期は20,184キロワットアワー、平成28年度上半期は11,906キロワットアワー、8,278キロワットアワーの減となっております。電力量からいけば41%の減という数字が出てきております。請求額について、料金については約24%という減になっているところでございます。御承知のとおり、電気料につきましては、過去11カ月分の最大使用電力量をもとに基本料金が設定されているところがございますので、現在まだ高い基本料等があるかと思えます。今後、その一番ピークのところをどれだけ抑えるかによってまた効果が出てくるものというふうに考えているところでございます。以上です。

#### 牟田学委員長

いいですか、はい。ほかにありませんか。

#### 山田勝委員

成果説明書の中にですね、阿久根市総合文化祭とか、阿久根丹宗律光展とあるんですが、私は阿久根洋画展にほとんど毎年行ってるんですけどね、去年は特別多かったとしても、ことしは何人でしたかね、わかってなかったらいいですよ。

#### 中野生涯学習課長

ことしの入場者数は約1,200名だったというふうに記憶をしております。

#### 山田勝委員

私はこう思ってるんですよ。例えば丹宗律光展にしても、文化祭にしてもですね、ポスターをつくられますよね、ポスターの配布は、ポスターはどの付近にそうしてこう配布されるんですか。掲示されるんですか。

#### 中野生涯学習課長

ポスターにつきましては、市内の各事業所、それから公共施設、学校等についてですね、掲示をお願いしているところがございます。

#### 山田勝委員

実はですね、学校等について、私は文化祭とかですね、そういう例えばボンタンロードレースとかいうような分に、例えばおたくのされるですよ、その分については、私はその学校に張ったり、あるいは公共施設じゃなくてですね、より市民に目の入るような場所にですね、私は張らないかと思うんですよ、ですから、どういうふうにそれを思っているのか、何で私がこう言うかという、私の関係のあるいきいき館にですね、ことしは宅急便で送ってきました。阿久根洋画展がですね、どうも違和感があるんですよ。市内を回って、宅急便で回すのかな、どうするのかな。

#### 中野生涯学習課長

今後その掲示の場所につきましても、いわゆる今委員がおっしゃるとおり、効果的なですね、視野に入るところというようなところですね、また場所等の選定もしながら配布をしていきたいというふうに考えております。

#### 山田勝委員

例えばですね、AZがあったり、Aコープがあったり、そういうね、市民がたくさん集まるところにはね、私は今あなたが配布って言われましたよね、配布しましたってわざわざ御無礼さんですよ。特に違和感があったのは宅急便で送ってきて、むしろこれを張らせてくださいって、どこにどっかに、こういうふうに私はいつも商工観光課とか来た時に言うんですけどね、どこに張らせてください、いいですかというくらいのね、熱意は伝わっていいと思うんですよ。

#### 中野生涯学習課長

掲示のお願い等について、その持ち回りのところについても今後改善していきたいというふうに思います。

**山田勝委員**

そういうふうね、改善して、来年見らなわからんわけですけどね、どうもな、市役所がつて言えば何でもかんでも皆聞くぐらい思うといどん、全然聞かないですよ、本当ですよ。やっぱいね、熱意が伝わらないと、それはね、今後ね、検討していきますではなくて、今後やはり取り組んでいってもらわな困る。

**中野生涯学習課長**

はい、そのようにしたいと思います。

**山田勝委員**

宅急便で送ったのは本当ですか。

**中野生涯学習課長**

ことしの洋画展については、ポスターの作成と、それから掲示・配布の時間等についてだったと思います、宅急便で送ったところがあるということでございます。

**牟田学委員長**

いいですか、はい。ほかにありませんか。

**山田勝委員**

図書館費の中でですね、図書館費の中で、委託料の中で、たしか図書館、設計委託料の話をちょっとせらったんですが、設計委託料については、一応、去年発注されたんですか。

**中野生涯学習課長**

平成28年9月までの延長をして、去年、その市民交流センターの実施設計の変更とあわせて発注しております。

**山田勝委員**

発注したということは、もう既に去年の予算で設計は始まっているということですか。

**中野生涯学習課長**

そのとおりでございます。実施設計については平成28年9月末を持ってそれが完了しているというところでございます。

**山田勝委員**

設計については、8月を持って完了をしました。完了しましたということは既にでき上がっているということですよ。もう10月ですからね。

**中野生涯学習課長**

はい、実はあした完了検査を行う予定でございます。

**山田勝委員**

でき上がっている、市民会館交流センターとは一緒にやらないんだということだったけれど、その後どうなっているんですか。今後。

**中野生涯学習課長**

この市民交流センターと図書館は一体的な施設ということで、初めから基本設計、実施設計については同じ形で発注をしているところでございます。ただ、図書館の建設につきましては、御承知のとおり事業費等の増大がありましたので、今後の建設計画としまして、図書館については建設はまだめどが立たない白紙の状況というところでございます。

**山田勝委員**

めどが立たない中でですね、めどが立たない中で実施設計は完成しました。あるいは世の中の流れがですね、また変わって、変えないかん場合も出てくるような気もするんですけどね、そんなに早く終わらせていいのかなと思っていますよ。自分の家をする時に、次の世代に、新たな候補ができたり、新たなデザインができたりするのにね、こんなに早くでき上がっていつくるかわからんのを実施設計ができ上がったで、いいのかなと思うんですけどね。どうされますか。

## 中野生涯学習課長

先ほども申しましたとおり、本施設は市民交流センターと図書館は一体的なものというふうな形で事業を進めてきた経緯があります。また縮小につきましても、市民交流センターが縮小されたのにあわせて、図書館もそれにあわせた形での縮小というところを図ったところでございます。今委員がおっしゃるとおり、建設のめどが立たないというところで、非常に苦慮しているわけでございますが、その建設に、今後どのような状況になるかというところはまだ見渡せないところなんですけど、今、その青写真は描いとくということからもう一緒に発注をして、完成ができたというところでございます。

## 山田勝委員

あなたが言う財源の問題もあって、今後、起債のですね、起債の問題等も含めた時にどうしても、平成30年度を超えなければ、実行できないというような状況の中でですね、青写真のままであればいいんだけど、現実にかこうやるというのはどうも私はわからんだけれども、私がどんなに言ったって、もうでき上がっていることについてですね、今後何らかの形で論議がなされていくと思うけれども、ただ、私がどうもぴんとこない部分がある、もう頭が悪いからでしょうね。いいです。

## 牟田学委員長

はい、ほかにありませんか。

## 白石純一委員

山田委員の質問に関連ですけれども、洋画展の告知をポスターでもやられたということですが、今は特に若い方はSNSを通じた告知を必要とされていると思います。そこでちょっと私もSNS、阿久根市のフェイスブックを今ちょっと見てみたんですけれども、確かに洋画展の告知はされておられます。ただし、ポスターが載っていないな、あるいはポスターができていないのであれば、その当日できていないのであれば前年の様子ですとか、SNSの場合じゃですね、写真があるのとないのとでは全く見る方の数が大幅に変わってきます。こういったことも考えてぜひ御課だけではなくてですね、市役所を上げてSNSの活用をしていっていただきたいと思います。以上です。

## 牟田学委員長

いいですか、はい。ほかに。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、認定第1号中、生涯学習課所管の事項について、審査を一時中止いたします。

この際、暫時休憩します。開催は1時から行います。

(生涯学習課退室)

(休憩 11:57～13:00)

(商工観光課入室)

## 牟田学委員長

休憩前に引き続き、委員会を開催いたします。次に、認定第1号中商工観光課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

## 堂之下商工観光課長

平成27年度、決算の商工観光課所管分について、御説明申し上げます。商工観光課では、本市の商工業と観光産業の振興・発展を図るために様々な事業に取り組んでいますが、平成27年度は、特に地方創生関連事業として、消費喚起型プレミアム付き商品券発行事業や、阿久根ファン創出事業として、観光サイトの構築を初め、多くの事業に取り組んでまいりました。主要事業の成果説明書は、71ページから83ページまでであります。主なものについて御説明いたします。72ページをごらんください。72ページの下段、テストマーケティング・情報発信業務委託から74ページまで、事業名の後ろに「阿久根ファン創出事業」

とあるのが、地方創生先行型事業として取り組んだものであります。73ページをごらんください。特に73ページ、上の段の、産学官金連携事業は、鹿児島相互信用金庫のネットワークを活かした料理雑誌と連動しての都市部での阿久根フェアの開催は好評で、当市の食材や特産品のPRにつながったことはもちろんですが、市内業者の育成にもつながり、大きな成果があったと思っております。74ページをごらんください。ふるさと納税特産品発送業務については平成27年度新規事業として4月から取組み、12月からはウェブサイト「ふるさとチョイス」からの申し込みとクレジット決済を可能にしたことから寄附額も大幅に増加いたしました。発送実績は、2,214件であり、寄附者本人宛の発送品については、アンケートを同封しました。アンケート調査については3月までに496件の返信があり、観光連盟では、その分析を行い、会員向けのセミナーを実施いたしました。アンケート結果は、関東・中部・関西の都市圏の40から50代が多く、男性が66%という結果でした。返礼品については概ね良いという評価であり、特に豚肉やデコポンの評価が高く、改善点としては、量より種類をふやして欲しい、鶴翔高校の豚味噌やジャム、こっぱ餅、あくまきなど懐かしいお菓子が欲しいというものがありませんでした。75ページをごらんください。ふるさと名物商品券発行業務は、阿久根うに井祭り、伊勢えび祭りの期間中、アンケート調査への協力を条件に、500円の商品券を発行したものであり、対前年比でうに井が668食、伊勢えびが1,138食の増となりました。アンケート調査については、約2万件ありますので、この分析結果を、今後の観光地づくりに活かしていきたいと思っております。76ページをごらんください。消費喚起プレミアム付き商品券発行事業については、阿久根商工会議所に補助金を支出して実施いたしました。発行総額は2億4,000万円、換金総額は、2億3,964万円という結果であり、地域経済の活性化が図られたものと考えます。次に80ページをごらんください。にぎわい交流館阿久根駅につきましては、年度当初は直営での運営を余儀なくされましたが、6月定例会において、指定管理者の指定について、公益財団法人阿久根市美しい海のまちづくり公社を指定し、指定する期間については、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第11条の認定を受けた日からという議決をいただきました。その後7月30日に、鹿児島県公益認定等審議会が開催され、7月31日に公社の事業追加・変更に関して県が認定をいたしました。それを受けまして、8月1日、阿久根市美しい海のまちづくり公社との間で、にぎわい交流館阿久根駅の管理に関する基本協定を締結いたしました。にぎわい交流館の収益部門については、4月以降8月まで、阿久根市観光連盟に事業をお願いしていましたが、9月1日からは、まちづくり公社が、株式会社あくねやと委託契約を締結し、新体制での運営が始まったものであります。様々なイベントを開催しながら、市民に愛される駅舎であると共に観光の拠点としての役割を果たせるよう努めているところであります。

それでは、歳出予算から御説明申し上げます。決算に関する説明書42ページ、事項別明細書は41ページをお開きください。5款2項1目労働諸費の支出済額、1,198万3,800円のうち、商工観光課所管分は、19節負担金補助及び交付金の出水地区職業訓練協会負担金3万3,800円であります。

次に、決算に関する説明書49ページ、事項別明細書は50ページをお開きください。7款1項1目商工総務費は、当初予算額4,158万1千円、補正額は55万6千円、予算現額4,213万7千円で、執行済額4,075万1,921円であります。補正の主なものは、消費者行政活性化補助金の決定によるものであります。1節報酬は、消費生活相談員1名分の報酬であります。2節給料から4節共済費までは、商工観光課職員の人件費であり、課長を含め5人分であります。7節賃金は、商工観光課事務補助の臨時職員1名分であります。11節需用費の支出済額50万926円は、阿久根市消費生活センター啓発グッズとして、トイレットペーパーとボールペンの購入費が主なものであり、産業祭来場者及び各公民館に配布いたしました。19節負担金補助及び交付金については、日本消費者協会主催の消費生活相談員・行政職員等研修講座の参加負担金であります。次に、2目商工振興費につい

て、御説明いたします。事項別明細書の51ページをごらんください。当初予算額8,969万円、補正額1,457万9千円、前年度からの繰越額8,785万円で、予算現額は1億9,211万9千円であります。補正額の主なものは、ふるさと納税返礼品事業に係る委託料が1,080万円であり、地方創生加速化交付金事業に係るものについては、600万円を3月に補正予算計上し、28年度に繰り越しております。翌年度繰越額、13節の400万円は、産官学金連携事業、19節の200万円は、鶴翔高校「3年A組」の商品支援事業補助金であります。12節役務費で、明許繰越費の不用額が75万288円ありますが、Wi-Fiの環境整備業務の契約が遅れたことにより、設置後の保守点検料が不要になったこと及び当初見込みより保守料が安かったものであります。13節委託料の明許繰越費の不用額354万3,620円は、Wi-Fiの環境整備業務及び観光サイト構築業務の入札執行残が主なものであります。19節明許繰越費の不用額148万7,235円は、消費喚起型プレミアム付き商品券発行事業の実績により補助金を確定したものであります。決算に関する説明書49ページをごらんください。8節報償費の主なものは、地域メディアプロデューサー講座、ビジネスシナリオ講座の講師謝金であります。映像撮影取材謝金は、平成26年度、平成27年度の受講生に、観光ポスター17枚及び動画1本を作成してもらったものであり、講座の中で培われた連携から、地域の魅力を伝える力が養成されたものと考えております。13節委託料については、備考欄記載のと通りの事業を実施いたしましたが、ふるさと納税特産品発送業務につきまして、寄附金額の半額を送料込みで返礼品としておりますが、3月末での事業を完了させるため、3月20日発送分までを平成27年度分として処理し、その後については平成28年度の発送としたため、約190万円の不用額が発生しております。18節備品購入費は、道の駅の厨房用機器、製氷機等4台を購入、設置しております。19節負担金補助及び交付金は、49ページから50ページにかけて、備考欄記載のとおり、県中小企業団体中央会等の負担金として3件、補助金として12件支出しております。明許繰越分を除いて、不用額が約1,000万円ありますが、市中小企業振興資金利子補給及び保証料が主なものであり、補助金の確定が2月末であることから、減額補正ができなかったものであります。決算に関する説明書50ページの上から4行目、物産品販路拡大事業は、シーフードショーなど15件の催事に、延べ51業者が参加し、参加費の一部を補助いたしました。21節貸付金は、市中小企業振興資金貸付金であり、市内4銀行に1,000万円ずつ預託しているものであります。次に、3目観光費について御説明いたします。事項別明細書の51ページをごらんください。当初予算額7,773万1千円、補正予算額、1,540万8千円、予算現額9,313万9千円で、翌年度繰越額が1,600万円であります。繰越額は、いずれも地方創生加速化交付金活用事業であり、うち、13節委託料1,400万円は、観光まちづくり戦略策定業務、19節負担金補助及び交付金、200万円は、民泊・体験推進事業分であります。執行率の低いもの、不用額の大きいものについて御説明いたします。7節賃金が、予算37万1千円に対し、3万1千円の支出済額で、執行率8.4%であります。シーズンオフに大島公園施設の塗装作業を予定しておりましたが、8月末の台風災害により、塗装作業ができなかったものであります。11節需用費は、不用額173万115円で、執行率78.2%であります。地域おこし協力隊の公用車2台分の燃料費を計上していましたが、2人1組での取材が多かったため、不用額が生じたことと、印刷製本費で観光パンフレットの印刷を予定していましたが、観光サイト構築業務の中で、委託業者の提案により、観光ガイドブックを作成したため、その分の印刷製本費が不要になったものであります。その他消耗品等については節約に努めた結果不用額が生じたものであります。13節、委託料の不用額341万208円は、台風災害により、大島公園水運搬業務の実績が少なかったこと、観光連盟に委託した観光宣伝人材育成支援事業の実績による委託料の減額が主なものであります。14節使用料は、123万7,704円の不用額、執行率62.7%であります。地域おこし協力隊用の住宅借上げ料、パソコン、公用車のリース料について、採用が7月21日からであったこと及び当初見込みより安かったことにより不用額が

生じたものであります。19節負担金補助及び交付金の244万8,288円の不用額は、各種団体への補助や阿久根大島航路運行事業など、事業実績により補助金の減額をしたものであります。それでは、決算に関する説明書の50ページをごらんください。1節報酬は、7月21日採用の地域おこし協力隊2名分の報酬であります。月額161,500円、13節委託料は、大島公園管理業務ほか、備考欄記載のとおり、17件の業務委託を実施いたしました。にぎわい交流館阿久根駅指定管理業務は、8月1日から阿久根市美しい海のまちづくり公社に委託したため、8カ月分であります。下から4行目、観光宣伝人材育成支援事業は、県の雇用創出事業地域ひとづくり事業を活用して、平成26年度からの継続で平成27年6月まで、観光連盟に委託して実施したものであります。15節工事請負費は、ガス漏れが指摘されていた阿久根大島公園C棟ガス配管改修工事を175万5千円で実施いたしました。16節原材料費は、脇本海水浴場駐車場の砂利等の購入や駐車場内にある井戸の建屋修繕用材料費等の購入費であります。19節負担金補助及び交付金は、備考欄に記載のとおり、負担金として4件、補助金として7件であります。51ページ、上から7行目、1周年記念事業補助事業41万761円は、にぎわい交流館阿久根駅の開業1周年を記念して、うに殻アート体験会及びスペシャルライブを実施したもので、観光連盟に補助したものであります。次に、4目企業立地対策費は、当初予算額、60万4千円に対し、鹿児島県企業誘致推進協議会の負担金、4万7,200円のみでの執行であります。予定されていた県主催の企業立地懇話会に業務の都合で参加できなかったことと、企業誘致相談の機会がなかったため、執行しておりません。

次に、決算に関する説明書は65ページ、事項別明細書は69ページをごらんください。11款5項1目単独商工施設災害復旧費であります。台風15号により被災した大島公園の災害復旧に係る経費であり、まず、予備費から311万4千円を充用し、調査設計費と調査の障害となる倒木撤去費用に充てたものであります。調査設計業務は、289万4,400円、樹木伐採業務は、21万7,728円あります。その後12月に補正予算を計上したものであり、11節需用費は、バンガロー6棟の修繕費であり、91万6千円の予算に対し、85万3,200円の執行済額であります。13節委託料は、バンガロー2棟の解体業務と大島公園内の電気配線調査業務として101万6千円の補正予算を計上いたしました。バンガロー2棟の解体業務は、66万9,600円で、電気配線調査業務は30万2,400円で委託し実施いたしました。11款5項2目補助商工施設災害復旧費は、国の都市災害復旧事業の対象となったことから補正予算を計上したものであります。11節需用費は、災害復旧事務に係る消耗品費として、工事費の1.5%の20万1千円を計上いたしましたが、執行はありませんでした。15節工事請負費は、大島公園海の家C棟、センターハウス及びバンガロー2棟の災害復旧工事費であり、平成28年度に繰り越して実施いたしております。

次に、歳入予算について、御説明いたします。歳入については、決算に関する説明書で、説明させていただきます。10ページをごらんください。12款1項5目1節商工使用料については、温泉使用料と大島渡船場使用料が主なものであります。収入未済額1,100円については、大丸公園の電柱使用料であります。平成28年6月1日の納入となったため、収入未済となったものであります。次に、12ページをごらんください。12款2項5目、商工手数料200円については、にぎわい交流館阿久根駅の運営に関し、証明を求められたため、証明書発行手数料として200円徴収したものであります。

次に、16ページをごらんください。14款2項4目3節、鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金は、実績により事業費が確定したもので、187万1,818円の収入済額であります。歳出、商工振興費の委託料、雇用創出及び人材育成支援事業と、観光費の委託料、観光宣伝人材育成支援事業に係るものであります。次に、17ページをごらんください。14款2項6目1節、商工費補助金は、消費者行政活性化補助金787,560円、地域振興推進事業としてメディアプロデューサー講座に係る地域の魅力発見・発信力育成事業補助金、222万8千円、北薩摩食の祭典開催事業補助金、105万円あります。次に、

18ページをごらんください。14款3項6目1節、商工費委託金、12万1千円は、権限移譲に係るもので、計量法に基づく事務費、9万7千円と自然公園法に基づく事務費2万4千円であります。

次に、20ページをごらんください。16款1項1目1節、一般寄附金のうち、あくね応援寄附金は、いわゆるふるさと納税であり、2,543万5千円の収入済額であります。

次に、21ページをごらんください。19款3項3目1節商工費貸付金元利収入、4,000万円は、阿久根市中小企業振興資金預託金元金として、4銀行に1,000万円ずつ預託していたものを年度末に、市に返納してもらったものであります。次に、19款5項4目20節雑入ですが、22ページをごらんください。備考欄の上から14行目、大島渡船場光熱水費、13万3,128円、その下に、光熱水費負担金、25万9,288円とありますが、このうち、18万4,025円が、にぎわい交流館阿久根駅直営期間における食堂、売店部分に係る電気・水道料、じんかい処理費用等の観光連盟からの負担分であります。備考欄の下から10行目に旧国民宿舎使用料12万円となっておりますが、これは、旧国民宿舎使用料の残額であり、昨年7月までは分納計画に基づき、毎月3万円ずつ納入がありましたが、その後途絶えている状況であります。収入未済額28万3,606円は、滞納繰越処分いたしました。随時、催促の通知を出して納入に努めているところであります。23ページをごらんください。備考欄の中ほどにあります、脇本海水浴場電気料は、自動販売機電気料であり、1行飛んで、地域メディアプロデューサー育成事業受講料として、24万円の納入がありました。一番下のあつくん商品販売収入、13万2,600円は、あつくんグッズを観光連盟に委託してテスト販売したものであります。

次に、24ページをごらんください。20款1項6目1節商工債310万円は、物産品販路拡大事業に充てるものであります。

以上で、説明を終わりますが、答弁につきましては、私及び課長補佐から答弁させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

#### **牟田学委員長**

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。ありませんか。

#### **竹原恵美委員**

成果説明書の74ページ、7款1項2目です。Wi-Fi環境なんですけど、これに対してはその利用状況、成果など教えてください。

#### **堂之下商工観光課長**

このWi-Fi環境整備につきましては、3月末までに工事を完了しております。市内4か所に設置をしましたが、その後の成果ということでございますけど、そのアクセス数等、まだ把握しておりませんので、申しわけございませんが、今のところお答えできません。ただ、無料で使えるということですので、観光客の方には喜んでいただけているのではないかと考えております。

#### **竹原恵美委員**

成果説明書80ページです。7款1項3目で、阿久根駅、これは途中で運営の主体が変わっているんですけども、流れとして、売上、利用者数を教えてください。

#### **堂之下商工観光課長**

4月から直営で運営していた時期でございますけれども、人数の把握はしておりませんが、売上げの合計が、4月から8月までで、この5カ月間で716万361円の売上げが上がっております。人数の把握はしておりませんが、前年度も大体食堂の平均を800円、カフェの平均を300円という形で、見込みで見えておりますけれども、それと同じような計算でいきますと、この期間だけで、2,840人の利用があったのではないかとというふうに考えております。その後は、9月からはposレジを阿久根駅のほうで導入しておりますので、レジの通過者ということで人数の把握をしております。9月から3月までで1万373人というレジの通過者があったということで報告を受けております。

## 牟田学委員長

いいですか、はい。ほかに。

## 中面幸人委員

成果説明書の74ページ、7款1項2目、ふるさと納税特産品発送業務についてお伺いをいたします。発送等もですね、約3倍の実績ということでございますが、先ほど課長のほうからもいろんなアンケート等ですね、地元の、昔懐かしいものとかそういうのをいいんじゃないかという話もありましたけれども、当初、今、平成25年度、27年度と今、28年度、いろんな返礼品等がふえている状況なんですけど、その辺あたりちょっと説明できますか。

## 牟田学委員長

返礼品の数。数と種類ですかね。

## 中面幸人委員

はい、返礼品の数等がインターネットで見れば、当初とすれば大分ふえておりますけれども、もうそんなに詳しくはいらさないですけど、どのような。

## 堂之下商工観光課長

4月に始めた当初は10種類の品物で始めたんですけども、10月から随時ふやしていきまして、12月には40くらいの種類のものがあつたように記憶しております。ただ期間限定のものもございまして、特にデコポンとか、タケノコとかいうのは、時期が限定されますので、そういったものもございまして。今、現在4月以降も随時、毎月何品かずつ更新をしてきておりますので、特にまたことし10月からは肉の種類もふやしております。そういった形で、やはり種類がないと選んでいただけないということで、種類をふやしていく形で取り組んでいるところでございます。

## 中面幸人委員

いわば、ふるさと納税を今度はされる方についてですけども、何か難しいかもしれませんが、例えば出身者が多いのか、もう全然関係ないところが多いのか、その辺あたりは把握はできないんですか。

## 堂之下商工観光課長

出身者かどうかということまでは把握しておりませんが、やはり関東阿久根会だったりとか、近畿地区阿久根会だったりとか、そういった郷土会に対してお知らせをたくさんしておりますので、そういうところが多いんじゃないかと思っております。先ほど申し上げましたとおり、関東、関西、中部地区が多いということでございまして、そういうところがあるかと思っております。

## 中面幸人委員

企画調整課での話ですけどね、平成27年度は2,500幾ら、それからこう考えれば本年度はどっか4,000万くらいという話もされましたけれど、その辺あたりは課長としてはどのように感じておられますか。

## 堂之下商工観光課長

ことしの当初予算であげましたのは、4,000万円一応目標でありますけれども、今、現在で2,600万を超えている状況でございますので、10月、11月この辺ピークになりますので、もっとふやしたいと思っております。

## 中面幸人委員

今、テレビ等でですね、都心、東京等なんかふるさと納税のせいで税が減収しているような話をされて、総務省なんかの話も聞いたりしますが、そういういろんな返礼品等の過度というか、何というか、そういう返礼品等で、例えばいろんな総務省から、何かそういう、いろんな指示みたいなのが、そういうのはまだないんですか。

## 堂之下商工観光課長

やはり、あまり返礼品の寄附額に対して割合が高いものはその控えるようにというものとか、あるいは換金制の高い品物については出さないようにして欲しいとか、そういった指導

はあるようでございます。

#### 中面幸人委員

あとですね、例えばいろいろなアンケートもとられているようでございますが、これから先、拡大していくために、それこそアンケートも必要であります。何か今度は逆にこの返礼品等についてですよ、何かよくなかったよとかそういうのもございますか。

#### 堂之下商工観光課長

今のところ品物についてのクレームというのはないと思っております。

#### 中面幸人委員

最後にですが、いろいろ交流人口をふやしてですね、いわば地元産業の活性化につなげていこうというような形でもいろいろ事業も展開しているわけなんです、このふるさと納税によって、返礼品等を行っている業者の、市内の産業の皆様方の声というか、そういうのは何か感じるころはございますか。このふるさと納税推進に当たって。

#### 堂之下商工観光課長

品物によって、注文の数もばらばらであるので、それぞれの事業所において、この恩恵を受けた思いがあるところ、ないところ、いろいろあると思えますけれども、ただ、これだけの売り上げがあるということでございますので、地域経済にはそれなりの効果はあったというふうに考えておりますし、またもっともっと市を上げてこういった産業の育成というか、推進をしていければというふうに考えております。

#### 牟田学委員長

はい、ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、認定第1号中、商工観光課所管の事項について、審査を一時中止いたします。  
(商工観光課退室、都市建設課入室)

#### 牟田学委員長

次に、認定第1号中、都市建設課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

#### 富吉都市建設課長

平成27年度の都市建設課所管の主要事業の概要から説明させていただきます。主要事業の成果説明書は、84ページから102ページとなります。初めに84ページをお願いいたします。市が管理します市道は、平成27年4月1日現在、646路線で、実延長38万6,885.38メートルとなっています。改良率は、全体で65.5%、舗装率は、全体で98.99%となっています。市道の維持管理業務としまして、パトロールによる巡回を行うとともに、市民や区長からの損傷箇所や危険箇所の通報等に対応し、維持改修工事、伐開委託、直営班による補修等を実施し、通行の安全向上に努めているところであります。また、北薩空港幹線道路や南九州西回り自動車道の整備促進を図るため、各種協会に加入し整備促進に取り組みました。結果としまして未事業化区間でありました南九州西回り自動車道の阿久根川内道路が平成27年4月9日に、北薩空港幹線道路の阿久根高尾野道路が平成28年4月1日に新規事業化区間に決定されました。今後は、早期開通に向けて取り組みを行っていくこととしています。次に85ページから86ページをお願いいたします。道路維持費関係であります、防災・安全社会資本整備交付金事業の舗装修繕事業により市道牧内桑原城線の舗装修繕工事ほか4工事と、通学路交通安全事業により市道高之口山下線の歩道整備工事ほか4工事を実施し、通行の快適性や児童生徒の通学等の安全向上を図りました。同じく、市単独道路改修事業としまして、測量設計や改修工事等31件を8,655万円で実施し、通行の安全向上や整備の促進を図りました。次に87ページから88ページをお願いいたします。道路新設改良費関係であります、過疎対策事業の中央線大川は、年度初めに建物等の補償交渉が整い、平成5年から着手しました1,100メートルの事業区間が、255メ

ートの表層の舗装工事を残して改良工事が完了しました。また、新焼却処分場に通じる新設道路の事業用地購入と立木補償を行い整備の促進を図りました。社会資本整備総合交付金事業では、整備の促進を図るため、鳩之浦深田線と折口大辺志線の土地評価業務委託と、事業用地の購入、立木補償を行い、尾城線においては、拡幅改良工事192.6メートルと流末排水路工事187.5メートルを実施し、通行の安全向上と整備の促進を図りました。単独事業負担金の2,435万2千円は、新焼却処分場に通じます出水市の市道菜切線の道路改良事業に伴います負担金を支出したものであります。橋りょう維持費関係であります。橋りょうの長寿命化計画に基づき、防災・安全社会資本整備交付金事業により、設計業務委託と修繕工事を実施し、橋りょうの長寿命化を図りました。次に91ページから92ページをお願いいたします。公園費関係であります。公園施設長寿命化計画に基づき社会資本整備総合交付金事業により老朽化した中央公園ほか1公園の施設改築工事を実施し、利用者の安心・安全の向上を図りました。また、宝くじ助成金を利用したコミュニティ助成事業により番所丘公園ユニバーサル遊具設置工事を実施し、子供から高齢者までの公園利用の促進を図りました。次に93ページをお願いいたします。都市下水路費関係であります。高松川との合流付近から市道大丸中線までの延長235.6メートルの大丸都市下水路の整備計画を行い、平成27年度は34.6メートルを整備し大丸地区の生活環境の改善に努めました。街路事業費関係であります。社会資本整備総合交付金事業の都市再生整備計画事業により、市道琴平浜中央線等の測量設計業務委託を実施し、再生基本計画に基づく道路整備計画に努めました。94ページをお願いいたします。住宅管理費関係であります。現在の市営住宅管理戸数は、公営住宅516戸、一般住宅8戸の合計524戸であり、住宅の維持修繕事業としまして下木場住宅敷地内道路補修工事、鶴見タウン量水器取替工事、寺山住宅共用部扉復旧工事を実施し、施設の適切な維持管理に努めました。96ページから102ページは、業務委託及び請負工事等を記載していますのでお目通しをよろしくお願いいたします。以上、都市建設課所管の主な事業の説明を終わります。

引き続き歳入・歳出につきまして、決算事項別明細書及び決算に関する説明書により報告を行いますのでよろしくお願いいたします。

事項別明細書と、決算に関する説明書を併用して、歳出から御説明いたしますが、先に報告させていただいた主要事業以外の主な事項について報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。事項別明細書の44ページ、決算説明書は45ページをお開きください。6款農林水産業費、1項農業費、6目国土調査費、13節委託料の149万400円は、市街地おける基準点の復元と地籍誤り等訂正測量業務委託が主なものであります。次は、事項別明細書の52ページ、決算説明書は51ページになります。8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、14節使用料及び賃借料の141万1,560円は、土木積算システムハード・ソフトウェア及び複写機の使用料であります。次に、事項別明細書は53ページになります。2項道路橋りょう費、1目道路橋りょう総務費、8節報償費の460万2千円は、市内の各区が行った市道・河川の伐開清掃に対する謝金であります。13節委託料の504万1,502円は、市道用地測量業務委託81万8,590円、道路台帳作成業務委託400万円が主なものであります。次に、決算説明書は52ページになります。2目道路維持費、13節委託料の支出済額1,963万6,200円は、市道阿久根出水線など5路線、延長25.24キロメートルの伐開委託1,182万6,200円と、道路維持修繕事業に伴います測量設計業務委託7件分及び、社会資本整備総合交付金事業によりますFWD調査業務委託781万円であります。16節原材料費の606万9,357円は、道路補修資材のアスファルト合材や碎石・セメント・蓋版等の購入費用と、里道整備等で支給する原材料費であります。次に、事項別明細書は54ページになります。3目道路新設改良費、13節委託料の836万9千円は、社会資本整備総合交付金事業の市道鳩之浦深田線の土地評価業務委託の259万1千円と、折口大辺志線の土地評価業務委託577万8千円の2件分であり、国庫補助率は60%であります。17節公有財産購入費の503万439円は、道路

新設改良に伴います檜之浦深田線2筆、折口大辺志線26筆、中央線（大川）1筆及び新焼却場取付道路8筆の4路線の用地購入費であります。19節負担金補助及び交付金の2,535万2千円のうち、100万円は、県が実施しました地方特定道路整備事業「協本赤瀬川線」の事業費に対する地元負担金であります。6目交通安全施設整備費、15節工事請負費の756万7千円は、市道14路線において、ガードレール、区画線、道路灯などを設置し、逸脱防止や交通事故の抑制を図り、通行の安全向上に努めました。次に、事項別明細書は55ページ、決算説明書は53ページになります。3項河川費、2目河川維持費、13節委託料の150万円は、田島川、愛宕川の2河川について、流れを阻害する雑草を除草する河川伐開委託を実施したものであります。これにより、河川の環境改善が図られました。4目砂防費、15節工事請負費の840万4千円は、平成26年度の豪雨により被災した尻無区南畑2地区における、県単急傾斜地崩壊対策事業の工事請負費の繰越分であります。19節負担金補助及び交付金の110万円は、県営急傾斜地崩壊対策事業仲仁田地区と、尻無1地区の総事業費2,050万円に対する市の負担金であります。次に、4項港湾費、2目港湾建設費、19節負担金補助及び交付金の800万円は、黒之浜港改修工事費3,000万円に対する市の負担金であります。次に、事項別明細書は56ページになります。5項都市計画費、1目都市計画総務費、13節委託料の1,200万3,444円は、都市計画基礎調査業務委託費の1,188万円が主なものであります。都市計画基礎調査は、都市計画法第6条に基づき、都市計画の運用を行うための基礎となる調査であります。19節負担金補助及び交付金の84万7千円は、潟土地区画整理事業地内の未処分市有地の購入者3件分の定住促進補助金80万円が主なものであります。不用額の460万2千円は、定住促進補助金の執行残金であります。次に、決算説明書は53ページから54ページになります。3目公園費、13節委託料の3,693万3,409円は、番所丘公園及びその他公園等の管理委託費が主なものであります。次に、事項別明細書は57ページ、決算説明書は54ページになります。5目街路事業費、13節委託料の896万4千円は、「うみ・まち・にぎわい」再生整備基本計画に基づく、市道琴平浜中央線外3線の測量設計業務委託費であります。15節工事請負費の1,303万6千円は、「うみ・まち・にぎわい」再生整備基本計画に基づく、市道琴平南通り線ほか1線の整備に係るもので、設計協議等で時間を要したことから平成28年度に繰り越しを行ったものであります。次に、6項住宅費、1目住宅管理費、11節需用費の549万7,633円は、ふれあい住宅の浄化槽修繕料の53万64円と、その他住宅の修繕料の471万8,965円が主なものであります。13節委託料の442万6,088円は、寺山住宅のエレベーター保守点検業務委託の295万4,880円が主なものであります。次に、事項別明細書は58ページ、決算説明書は55ページになります。17節公有財産購入費の193万7,451円は、市営住宅の設備等更新の風呂釜・流し台・換気扇等の購入費であります。2目住宅建設費の2億3,480万3千円は、寺山住宅6号棟建設事業に係るものであり、補助金の交付決定が遅れたことから平成28年度に繰り越しを行ったものであります。

次に、事項別明細書は69ページから70ページ、決算説明書は65ページをお願いいたします。11款災害復旧費、6項土木施設災害復旧費、1目単独土木施設災害復旧費の13節委託料の291万6千円は、台風15号により倒木の被害があった番所丘公園ほか5公園と、横座トンネル坑口広場の樹木復旧及び撤去作業委託と、市道大川本線の測量設計委託であります。14節使用料及び賃借料の1,412万1,702円は、梅雨前線豪雨や台風15号及び秋雨前線豪雨等により発生した崩土の除去・風倒木の運搬等に使用しました重機借上料であります。なお、委託料と使用料及び賃借料は予備費から、215万2千円と805万1千円を流用しています。2目補助土木施設災害復旧費、15節工事請負費の2,400万840円は、平成27年度の梅雨前線豪雨により発生した市道6件2,216万4,816円と市管理河川1件183万6千円の災害復旧工事費であります。

次に、歳入について御説明いたします。事項別明細書の3ページ、決算説明書は8ページ

をお願いいたします。10款交通安全対策特別交付金、1項1目1節交通安全対策特別交付金の313万2千円は、交通違反反則金の収入を各地方公共団体に配分されるもので、交通事故の発生件数や人口などにより配分が決定されるものであります。

次に、事項別明細書は4ページ、決算説明書は9ページになります。11款分担金及び負担金、2項負担金、2目土木費負担金、2節道路橋りょう負担金の56万6千円は、新焼却場取付道路新設改良事業の阿久根市事業分に対する出水市、長島町の負担金であります。

次に、事項別明細書は5ページ、決算説明書は10ページになります。12款使用料及び手数料、1項使用料、6目土木使用料、1節道路橋りょう使用料の739万8,765円と、2節都市計画使用料の9万2,114円は、市道や公園、都市下水路等において、電柱・電話柱の占用料が主なものであります。3節住宅使用料の8,207万2,660円の内訳は、市営住宅使用料が8,020万4,800円、駐車場使用料が174万8千円、電柱・電話柱等の占用料が11万9,860円となっております。なお、住宅使用料及び駐車場使用料を含めた平成26年度との収納率の比較では、平成26年度の収納率が86.60%でありましたが、平成27年度の収納率は86.41%となっており、前年度比0.19%の減となりました。また、滞納額につきましては、前年度より68万3千円の増額となっております。平成27年度は、住宅使用料の徴収対策として、毎月の督促状の送付のほか、7件の誓約書の締結、275回の夜間徴収と電話相談を実施してきました。平成27年度の徴収率につきましては、前年度比で0.19%の減であったものの、滞納者の実質人員では2名の減となりました。本年度においても、新たな滞納者がふえないよう日頃から納入状況を監視し、遅れた方に対しては訪問・指導を行い、比較的初期の段階において、滞納者に対し面談・支払督促等を行い、悪質な滞納者に対しましては、公平性を確保するため、法的処置を含めた徴収対策に努めてまいりたいと考えております。

次に、事項別明細書は8ページ、決算説明書は13ページになります。13款国庫支出金、1項国庫負担金、10目災害復旧費国庫負担金、9節土木施設災害復旧費負担金の1,600万8千円は、道路6件、河川1件の災害復旧工事費に係る負担金であり、補助率は66.7%であります。次に、事項別明細書は8ページから9ページ、決算説明書は14ページになります。2項国庫補助金、7目土木費国庫補助金、2節道路橋りょう費補助金の9,024万3千円は、社会資本整備総合交付金事業により、道路改良工事3路線、舗装修繕工事5路線、歩道整備工事5路線、橋りょう長寿命化修繕2件の事業に対する国庫補助金であります。国庫補助率は補助対象額に対し、60%であります。5節都市計画費補助金の1,050万円は、社会資本整備総合交付金事業により、公園の施設改築工事に対する国庫補助金であります。補助率は補助対象額に対し、50%であります。

次に、事項別明細書は12ページ、決算説明書では17ページになります。14款県支出金、2項県補助金、7目土木費県補助金、3節河川費補助金の750万円は、平成26年度からの繰り越し事業の尻無区の南畑2地区県単急傾斜地崩壊対策事業に対する県補助金であり、補助率は50%であります。5節都市計画費補助金の594万円は、都市計画基礎調査業務委託に対する補助金であり、事業費の2分の1を県から補助を受けたものであります。

次に、事項別明細書は14ページ、決算説明書では19ページになります。15款財産収入、2項財産売却収入、1目不動産売却収入、1節土地建物売却の1,607万9,905円のうち、820万円は、潟土地区画整理事業の未処分市有地の売却に伴う収入であります。

次に、事項別明細書は17ページ、決算説明書は21ページから22ページになります。19款諸収入、5項雑入、4目雑入、20節雑入の1億2,680万3,535円のうち、都市建設課関係の主なものは、説明書の22ページ、寺山団地維持管理県負担金の65万7,055円と全国公営住宅火災共済機構からの共済金50万円であります。収入未済額の538万4,813円のうち、都市建設課所管の分につきましては、潟土地区画整理事業の清算金の未徴収金の60万5,599円であります。

次に、事項別明細書は18ページ、決算説明書は24ページから25ページになります。

20款市債、1項市債、7目土木債の、道路りょう債の2億2,100万円、河川債の140万円、港湾債の800万円、都市計画債の4,210万円は、それぞれの対象事業費に市債を充てたものであります。次に、事項別明細書は19ページ、決算説明書は25ページになります。10目災害復旧債の、道路橋梁施設災害復旧債の730万円と河川施設災害復旧債の60万円は、それぞれの対象事業費に市債を充てたものであります。

以上で都市建設課所管に係る、平成27年度決算の概要説明を終わりますが、質問の答弁につきましては、課長、不足の場合は担当係長から説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

#### 牟田学委員長

課長の説明は終わりました。この際、暫時休憩します。

(休憩 13:38~14:04)

#### 牟田学委員長

休憩前に引き続き委員会を開催いたしますが、委員会開催中はむやみに席を外さないようにしてください。生理現象は仕方ありませんけれども、そのほかはむやみに席を外さないようお願いいたします。それでは、これより質疑に入ります。

#### 野畑直委員

主要事業の成果説明書の93ページ、8款5項5目街路事業費の社会資本総合交付金事業の2件の測量設計業務委託ですけれども、この2件については、市外業者だけの指名だったと記憶しているんですけれども、これは間違いないですかね。

#### 富吉都市建設課長

そのとおりです。

#### 野畑直委員

この測量設計業務委託ということで、何かの事情があつて役所としてはそういうことをされたと思うんですけれども、今、測量業務と設計業務と分けることが私はできると思っているんですけど、というのは、もう測量については電子納品となっているわけだから、できるだけ市内の業者にやはりちょっとでも委託費が落ちるようにですね、してもらいたいと思うんです。この中で、896万4千円のうち、測量業務と設計業務に分けた場合幾らずつになってますか。

#### 富吉都市建設課長

合算で上げてありますので、中身については、後もって報告したいと思いますがよろしいでしょうか。

#### 野畑直委員

今、数字的にわからない分であれば後でいいですけれども、今の考え方ですけれども、課長はどのように考えられますか。私が今言った、測量と設計と分けて発注できるのじゃないかと考えているんですけども、これだけあれば測量でも相当な額に上がると思うんですが、課長の考えはどうですか。

#### 富吉都市建設課長

いろいろな部分があると思われませんが、分離発注をした場合ですね、経費等もそれに上乘せが入ってきますので、そこら付近はよく設計等の中身と測量の中身等を考慮して同時に発注しなくてはいけないものについては、やはり関連性がありますので、データをもらってからまたそのデータを設計会社のほうにお渡しして、それに計画を入れてもらうというところがありますので、そこら付近はよく中身を検討して発注すべきだと思っています。以上です。

#### 野畑直委員

こういう話をするとですね、すぐその分離発注をすると経費が高くなるという、建設業においては、そういう可能性が高いと思いますよ。しかし、測量の経費と設計の経費は全く積

算は違うんだから、そういうことは、私はないと思いますけれども。

#### 富吉都市建設課長

そこら付近、私も中身までしっかり見ていませんので、まことに申しわけありませんが、そういうことであればですね、きちっとそういうところ精査して、分離発注をかけていくところは、分離発注をかけるということで考えています。以上です。

#### 野畑直委員

後もって、その積算の内容について、私もデータをいただけたらと思っておりますけれども、このような、どうしても設計については市外に発注しなければならないというのは、そこまで私は言いませんので、今後はやはり注意して法人税を納めてもらっている市内の業者に少しでも発注して市税としても増収になるわけだから、そこら辺を考えて少々ですね、高くなった場合に、例えばですよ、これは896万です、まあ1,000万としてですよ、あなたの言う諸経費が幾ら高くなるのかという時でも、それについては、分離した分で諸経費等も下げてもいいんじゃないですかって私は思いますよ。ゼロになるよりも、そういうこともありますので、この測量設計ばかりでなくて、建設業においても合算経費から割ることもいいんじゃないかと思えますけどね、そういう考えで分離発注できるものについては、今後は注意して発注してもらいたいと思います。よろしくをお願いします。

#### 牟田学委員長

はい、ほかに。

#### 竹原信一委員

にぎわいづくりでいろいろ通りなど工事がされてきているわけですがけれども、目的がにぎわいづくり、商店が、道路などがよくなったことでお客さんが集まる状況をつくるということが目的であるならば、そのなんていうかな、今までやってきて、その成果といいますか、投資に見合った成果がなければいけないわけですよ、それはどうやって測っているんですか。

#### 富吉都市建設課長

今、でき上がったばかりで、成果という部分を今きちっと求めているところはないわけですが、今、でき上がったところの、人、人を歩かせるということで、このうみ・まち・にぎわいの整備計画はできていますので、計画されていますので、その部分について人がどれくらい歩くのかというのは今後検証していきたいというふうに思います。

#### 竹原信一委員

そうじゃなくてですよ、実際は、どういう状態をその事業の成功と言えるのかという物差しはですね、これ、事業する前に決めないかんことなんですよ、ね、そうでしょ。それがないままに、道路がきれいになれば人が集まるはずだろうという程度で、外注をしている、設計をですね、全体の画も含めて、そして出てきたものを見て、これは本当に成果につながるんだろうかという視点がない、ないですよ。これを見たら、ああきれいだ、金かけたところが人間集まるはずだとその程度の感覚で、工事設計にまた発注してしまう。実際にはまちづくりというのはそこに住んでいる人や、商店の人たち、そういった人たちとの相互関係でつくっていくものなのに、都市建設課が画を描き、発注し、工事をやって、結果どうするのって、ね、うまくいったと思ってます、どうやって最初で測らないかん、つくっておかないかん物差しがないわけですから、今、補佐が商工観光課の兼務という状況というのはすばらしいことだと思います。でもタイミングがあまりにも遅すぎる。順番がもう逆さもいいところなんですよ、これは。こんな調子だからね、課ごとにそのなんていうのかな、自分ところの役目はそれぞれ頑張った、頑張ったけれどもなぜかうまくいかない。そして、どの課にも責任がない。ね、トータルとしてもものを見る能力が議会にも市長にもないからなんですよ、その責任があるということを議会も市長も自覚していないんですよ。でも、役所の職員のほうは言われたことをちゃんとやる、トータルとして非常に悲しいことになり続けているということなんですよ。ですから、これを打開するには、もうそれぞれが能力を付けないかんわけ

ですよ、自分たち、誰も議会のほうはあてにならない、市長もあてにならない、自分たちが、お店の人たちも会って話をしたりしてね、やっていかないかん、そういう視点でやってから、そして課を超えてね、市民を怖がっちゃだめですよ。そして、声が大きい人のために物事をやるもんだから、ますます甘えていく。お客さんを大事にしないで、役所の力を使って自分のところに金を伏せようとする人たちばかりの行政になってしまう。国も一緒ですけども、そこんところをね、本当に一番、どっちかといえば貧乏な人たちというかな、あるいは何も持っていない人たちのところと一緒につくっていくという体制が、気持ちが伝わるように動いてください。他の課も全部ですよ、そうしないと本当に誰もわからんうちにさびれてしまっていて。これが続いてしまいますよ。よろしくをお願いします。

**牟田学委員長**

いいですか。

**渡辺久治委員**

8款2項3目、成果説明書では、87ページ、一番下の社会資本整備交付金事業で、鳩之浦深田線についてですけど、これは公有財産購入費が75万5,346円となっておりますが、これで、もう全部でこれだけということですよ。土地代は、ということでもいいんですかね。

**富吉都市建設課長**

本年度、鳩之浦深田線においては、本年度に池沼の部分がありました、あそこの部分については本年度の、28年度に購入する予定であります。以上です。

**渡辺久治委員**

そしたら池沼は除いた分ということですか。

**富吉都市建設課長**

はい、そういうことです。

**渡辺久治委員**

ちょっと教えてください。私、不勉強で申しわけないんですけども、土地評価業務委託、259万1千円、これってこの土地評価業務委託っていうのはどんなこと、費用になるんですか。

**富吉都市建設課長**

それぞれの土地についての評価をしていただいて、国の会計検査というものを受けますので、どうしてもそういう中ではですね、きちっとした価格で、お互いにやり取りをした金額というのが普通なんでしょうけど、やはり阿久根市という部分の中の土地の価格というのをきちっと求めてもらうための委託であります。

**渡辺久治委員**

ということは、土地の評価を決めるために、かかったお金ということですね。ということは、75万5千円を決めるために、250万かかったということですね。とういうことですね、はいわかりました。

それとこの事業の工事全体の費用というのは、もうわかっているんですかね、大体、これから工事が入ると思うんですけど。

**富吉都市建設課長**

すいません、計画事業費は幾らかということとはちょっと覚えてませんが、全体的に言えばその年、その年に発注をかけていきますので、全体予算では2億ぐらいだったというふうに思っているんですけど、実際の金額はちょっとわかっていないところです。すみません。

**渡辺久治委員**

大体2億くらいということで認識しておけばいいですね。

そして、今回のこの事業には少し関わらせてもらったもんだから聞くんですけども、事業用地の購入とかですね、そういうのがうまくいかなくて、いけないとかそういう理由で、頓挫している事業というのは結構あるんですか。

## 富吉都市建設課長

そういうことはあります。はい。

[渡辺久治委員「はい、わかりましたありがとうございます」と発言あり]

## 牟田学委員長

はい、ほかにありませんか。

## 山田勝委員

先ほど、野畑委員のですね、入札指名についていろいろな話をしましたけれどもね、私はこういつも思うんですよ、この阿久根市の業者ができない根拠をね、例えば、野畑委員なんか測量、設計というのはプロですね、こういう方々が言ってるのですね、阿久根市の業者ができない根拠というのをね、はっきりしてくれないと、どういう根拠なのかとかですね、例えば、入札結果を見てもですね、どうしてもこれはおかしいよねというのがあるんですよ、一般住民、私どもから考えれば、ですから、きょうはここで、あす総括の中でお尋ねしようと思っているんですけどね、ただ、例えば財政課とか、副市長、市長のところについてはですね、こういう事業は、事業課がですね、ここの事業者でないとできませんよという、あれをばやったらですね、何ですか、上げたらですね、上にね、そのまま行くんじゃないかという気がするんですがね、だから、いつも思っているのは課長が変わったり、担当が変わったりすれば指名業者は変わってくることもあるんですよ。ですから、基本的にはやはりね、阿久根市の経済を上げるためには、阿久根市のトータルで生活をよくするためには、活性化するためには、市内の業者の方々、市内の方々が働いてそこに税金を還元することが活性化につながると思っているんですが、基本的な考えを課長教えてください、あなたの。

## 富吉都市建設課長

今、山田委員が言われたとおりですね、阿久根市でできる分については、阿久根市に願いますということ考えています。以上です。

## 山田勝委員

ということであればですね、この指名、あるいは入札結果に基づく指名のあり方とか、あるいは私ども住民の考え方からすれば、こうあって欲しいとかというのはですね、あしたもう一遍話をしましょう。以上です。

## 牟田学委員長

はい、ほかにありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、認定第1号中、都市建設課所管の事項について、審査を一時中止いたします。  
(都市建設課退室、スポーツ推進課入室)

## 牟田学委員長

次に、認定第1号中、スポーツ推進課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

## 堂之下スポーツ推進課長

平成27年度、一般会計の決算について、スポーツ推進課所管について御説明いたします。まず、初めに、平成27年度中の新規事業や、事業執行による行政効果等について、主要事業の成果説明書に基づき、御説明申し上げます。

成果説明書の120ページをお開きください。保健体育総務費の事業では、第32回ボンタンロードレース大会は2,183人の参加を得て開催いたしました。他市の大会と同時開催となり、一般の参加者が前回より減少したところでございます。121ページをお願いいたします。男子26回、女子23回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝競走大会は、男子21校、女子17校の参加を得て開催いたしました。県内からは男子6校、女子4校参加し、地元鶴翔高校男子も出場し、健闘いたしました。その下に移りまして、体育施設費の修繕になりますが、総合体育館吸収冷温水機ケーシング修繕を324万円で実施しました。総合体育館は平

成6年に建設され、同時に空調設備も完備されました。その空調設備の上屋であるケーシングが経年劣化により、破損状況にあり、雨水が流れ込み電気系統等に不都合が生じる可能性があり、その交換作業を行ったものであります。122ページに移りまして、阿久根市B&G海洋センタープール用備品を、577万2千円で購入いたしました。B&Gプールは、平成26年度に大規模改修を実施し、これに伴い、小学生の低学年でも利用できるプールフロア等を購入したものであります。

以上で、成果説明書での説明を終わり、次に、歳出の主なものについて、歳入歳出決算事項別明細書と決算に関する説明書に基づき御説明いたします。事項別明細書は66ページ、決算に関する説明書は63ページをお開きください。10款教育費、6項保健体育費、1目保健体育総務費は、予算現額1,648万8千円に対し、1,458万2,857円の支出済額であり、執行率は88.45%であります。1節報酬は、スポーツ推進委員14名の報酬であります。19節負担金補助及び交付金の支出済額1,217万2,349円は、説明書備考欄に記載のあるとおり、出水地区体育協会連絡協議会ほか5件の負担金と、阿久根市スポーツ少年団育成補助ほか11件の補助金であります。第32回ボンタンロードレース大会は、悪天候の中、参加者2,183名で、平成26年度より413人少ない参加となりました。近年、健康志向によるジョギング愛好者の増加と、申し込みがインターネットで可能となることから、その手軽さもあり、市外の一般参加者が増加傾向にありましたが、他市のマラソン大会と同日開催となり、減少しました。市外から多くの参加者があり、スポーツを通じた経済・交流人口の増大を目指し、市内の特産品を一堂に集めた特産品フェアも同時に開催しました。男子第26回・女子第23回阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会は、全国でもトップクラスの九州の強豪チームが一堂に集う男子21校、女子17校の参加を得て、総合運動公園を発着としたコースで行われました。男子の優勝は佐賀県の鳥栖工業高校、女子は県内の神村学園高等学校でした。県内からは男子6校、女子4校参加し、地元鶴翔高校男子も出場し、15位と健闘しました。地元選手の競技力向上と合わせ、小・中学生や陸上競技者へ夢や希望を与えています。2目体育施設費は、予算現額4,649万8千円に対し、4,388万3,911円の支出済額であり、執行率は94.37%であります。11節、需用費の支出済額1,599万7,421円は、体育館・陸上競技場などの電気水道料等の光熱水費や、総合運動公園多目的雨天屋内運動場修繕、総合体育館アリーナ空調機修繕、いこいの広場外灯修繕料が主なものであり、不用額は、光熱水費の節約による残が主なものであります。次に、事項別明細書は67ページをお開きください。13節委託料の支出済額2,709万9,745円は、グラウンドほか芝生除草管理業務ほか12件の委託料であり、そのうち総合運動公園施設等管理運営業務を阿久根市体育協会に1,081万6,886円で委託したものであり、不用額は12件の入札執行残でございます。19節負担金補助及び交付金の支出済額5千円は、鹿児島県体育施設協会の分担金であります。決算に関する説明書は64ページをお願いいたします。3目海洋センター管理費は、予算現額1,437万8千円に対し、支出済額1,389万8,112円で、96.66%の執行率です。説明書64ページのほうですが、7節賃金の支出済額113万1千円は、B&G海洋センタープール監視アルバイトで、当初は、夏休み期間中の予算でありましたが、市民の要望等もあり、9月・10月の2カ月延長して一般開放を行い実施をしたものでございます。8節報償費は、水泳教室の指導者謝金が主なものでございます。11節需要費は、B&G体育館及びプールの光熱水費が主なものであり、不用額は、その執行残でございます。13節委託料の支出済額143万2,040円は、B&Gプールリニューアルオープン式典時講演会等業務60万8千円、B&G体育館及びプールの白蟻駆除業務57万2,400円ほか1件の委託料が主なものでございます。18節備品購入費の支出済額577万1,520円は、B&Gプール建設から30年以上が経過し、施設設備の老朽化が進んでいたため、平成26年度に大規模改修を実施した。また、プールは日本水泳連盟の公認プールとして認定を受けたところでもあります。これに伴い、プールが深くなり、毎年行っている小学生の水泳教室を行うには危

険などが伴い、それに一般開放においてもプール内でウォーキング等される利用者に支障などがあることから、プールフロアー、プールカバーシート、コインロッカー、時計等を購入し、施設設備の充実と利用者の安全管理と快適なスポーツ環境の整備が図られたところがございます。

以上で、歳出に関する説明を終わり、続いて歳入についての説明に入ります。歳入は、決算に関する説明書で御説明いたします。決算に関する説明書の11ページをお開きください。12款使用料及び手数料、1項7目教育使用料の備考欄に掲載してあります、保健体育使用料の収入済額459万5,470円のスポーツ推進課所管分は、備考欄の学校給食センター占用料を除いた459万4,370円で、総合運動公園及び海洋センターの施設使用料及び夜間照明料でございます。説明書は21ページから22ページになります。19款諸収入、5項4目雑入、20節雑入の収入済額1億5,149万671円のうち、スポーツ推進課所管分は、136万4,770円であります。主なものは、説明書の22ページ、雑入の備考欄、下から5行目、地域海洋センター水泳教室参加料12万9,600円は、「チャレンジアップスイミング」として実施した水泳教室に参加した、小学2年生から6年生までの144名分の参加料であります。一番下の行です。総合運動公園自動販売機電気料61万8,697円は、総合運動公園内に設置してある16台分の自動販売機電気使用料でございます。22ページの備考欄中ほど上から12行目になりますけど、総合運動公園事務所光熱水費22万5,113円は、運動公園施設管理業務を委託している体育協会の事務所の電気・水道料であります。その下のB&G体育館光熱費7万3,320円は、阿久根市学童クラブガッツに貸与していたB&G体育館の事務室と会議室の電気・水道使用料が主なものでございます。同じくその下、ちょうど中ほどですけれども、原子力立地給付金165万2,724円の内、スポーツ推進課所管分は29万9,280円であり、所管する総合運動公園施設などに対する給付金であります。

以上、歳入歳出決算につきまして説明を終わりますが、答弁につきましては私、もしくは課長補佐でお答えいたしますので、よろしく願いいたします。

#### **牟田学委員長**

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

#### **竹原信一委員**

えっと、今さらなんですけど、スポーツ推進課の設置目的を教えてください。

#### **堂之下スポーツ推進課長**

御存じのとおり、スポーツ推進課は平成28年4月になってからできた課でございます。その前は、生涯学習課のスポーツ係として、生涯学習課の中で、活動してきていたところですが、その前まで、本年でいうと3月31日までは、体育協会に委託をしていたわけですが、やはり、委託をする中で、現場を抱えている施設というか、課であろうというふうなことを考えます。そうした時に、先ほど説明にも申し上げましたけれども、施設そのものが、こうだんだん老朽化をしてくる。そうする中で、ここを修繕したらとか、あそこをよくしたらとかというのは、やはり、直接的に市が管理するほうがベターではないかということでスポーツ推進課が立ち上がったのではないかというふうに考えております。

#### **竹原信一委員**

それ、設置目的ではないですよ。自分ところの、推進課の任務をわかっていなければいけないはずですよ。

#### **堂之下スポーツ推進課長**

そのほかには、この中でも平成32年に国民体育大会が開かれます。その国民体育大会に向けての準備というのも大事な業務ではないかというふうに考えているところです。今申し上げましたように、鹿児島国体の開催準備のため、平成16年から体育協会が委託を受けていたんですけども、それがその業務を廃止をして、体育館の事務室内にスポーツ推進課を設置をして、国体準備の業務をするために市の直営としたと。

## 竹原信一委員

私は今あの、阿久根市がスポーツ振興に取り組む理由というのを聞けるかと思ったんですけども、どうもそういうところは当てが外れ、いや実はですね、スポーツはいいもんだと皆さん思っている。ところが同じ野球をしてても清原みたいに薬におぼれてしまう人もおれば、イチローみたいに世界に羽ばたく、精神的にもすごく尊敬されるようになる人もいます。何が違うかと言うと、金におぼれるかどうかということなんですね。どうも今の課長の説明などを聞いていくと、商売が繁栄するようにとかですね、いう視点、スポーツとまちの繁栄を繋げるような視点が非常に強く感じられるんですよ。まず、本来の目的というところをですね、この精神性に置かなければいけない。そこんところが、いつも、日本のスポーツ業界といますか、そこで失敗しているもんだから、妙なことになっているんですよ、人間が体を壊すほど子供たちにやらせたり、あるいは金のために身を持ち崩す、いろんなことが起こっている。一番大事なことは、施設を管理することではなくて、人間をつくることですよ、スポーツ目的は、そこのところを絶対はずしちゃいけないと思うんですよ。まず、施設が安全にあるということよりも、安全に使える人間になるということ、そこのところを阿久根市では、スポーツのね、振興の点では一番重視しなければいけないことだし、またスポーツの中でよくあるのははじめですよ、体罰ですよ。そういったことも学校の現場でも間違っておる、ね。一番大事なところをまず取り組まないで、そして、商売熱心であっちゃいかんと思いますよ。一步も二歩も商売人には引いてもらわないで、でしょ。そしてそこのところをしっかりとまさにスポーツ振興、推進課ですから、そこを持ったスポーツ推進課でなければ、ついていけないというか、子供たちが、自分の信念とかね、良心とかに従う人生になるように応援する、そういったところを一番、自分たちもですよ、持っとかないかんと思いますよ、よく考えてやってください、よろしくお願いします。

## 牟田学委員長

はい、ほかに、ありませんか。

## 山田勝委員

体育協会がですね、体育協会に委託していたのが直営でやることによって、具体的にどういうふうになるわけですか、変わったわけですか。具体的に、特にあなたは課長として今されてですね、やはり体育協会ですとった頃を引き継いだけれども、こうこうこうだった、ああだったというようなふうにあなたが感じたことをおっしゃってください。

## 堂之下スポーツ推進課長

先ほど、竹原委員のほうからもちょっと御指摘があったわけですけども、今、山田委員の御質問で申し上げますと、最初感じたのは、施設全体が手があまりよく届いてなかったというふう感じたところがございます。例えば芝の管理にしたりとか、あるいは体育館の前にボンタンロードですけど、ボンタンの木がこう生えているんですけど、そういうこととか、あるいはお客様方が車を止められるところの駐車場の整備とか、清掃とか、やってはいたんですけども、もうちょっとこう清潔にきちんと整備できてたらなというふう感じたところですよ。

## 山田勝委員

あくねボンタンロードレースはですね、県下の中でも先駆けて、もう33年ぐらいになりますよね、ことしでね、33年ぐらいになる阿久根の、当初は山下でありましたよ、ボンタンロードレースが、私も1回か2回走ってみました。そして、それまではですね、あまりやっているところはなかったんですよ、ボンタンロードレース大会をやっているところは県下でもそうたくさんじゃなくて、長島も出水もそんなにこう記憶ないんですが、やってなかったんですよ。その後、たしか多い時には3,000人ぐらい集めてですね、阿久根が賑ってました。あわせてその産業、特産品も売れて、それよりも特産品が売れることもだけれども、特に振る舞いをですね、生活改善グループの人とか、芋をふかしたり、あるいはイワシを焼いたりしてですね、振る舞われたあのやはりおもてなしの気持ちがですね、私は阿久根

のボンタンロードレースをね、非常に大きくしたというふうに思っているんですよ、ですから今でもですね、今、こういう形で出水でもある、長島もずっとこうある中でもですね、2,500人ぐらいをこう保っているということはすごいなと実は思っています。すごいなと思っ  
ているんだけど、今あなたが言われるように、例えば番所丘公園も同じですよ、管理が行き届いていない、せっかくやってるのに、特に総合体育館の裏の雨の降った時にはじゃぶじゃぶですよ、あんなところはないです、恥ずかしくてものが言えない。やはりそういうところに目配りをしながらですね、きれいなものにしていかないかんと思う。だからスポーツ振興、観光ですからね、スポーツをして、結果として人が集まって、人が集まってくればいいですよ、その分だけね、もうかる人もいるんだから、それは十分していいと思いますよ。だからそういう中で、私は今申し上げましたその体育館の裏のですね、舗装工事とか、あるいはボンタンの時の管理というのは具体的にどういう具合にしたんですか。今後の見通しとか。

#### 堂之下スポーツ推進課長

まず、体育館の裏側につきましては、今後整備をする、運動公園というスタンスのほうから整備が進められていくというふうに聞いております。それからボンタンについては、ボンタンだけではないんですけれども、落ち葉であったり、落葉樹が結構あるもんですから、適宜、嘱託職員及び臨時職員等に整備をするように、掃除をするようにということで指示をしているところでございます。

#### 山田勝委員

私は、スポーツイコール、スポーツ観光という位置づけをしているもんですからね、あわせてあの屋体で産業祭があったり、いろんな行事があったりする。裏から人が入ってくる、あの裏の道路なんていうのはね、もうあれは道路やんかでや、昔のおくわんです。ですから、この付近はな、早急にやっぱりね、私はちゃんとしないと見苦しいですよ、いろんな人が来るのに。だからことしの予算にも載っていない、来年はどうなのか。だからその付近はね、勇気を持ってやはり折衝せないかんと思いますよ。スポーツ公園、何公園じゃと言ってもですね、阿久根市のあなたの担当ですから、ぜひしてください、どう思いますか。

#### 堂之下スポーツ推進課長

順次整備を進めて参りたいと思います。

#### 山田勝委員

早く予算を上げてください。喜んで賛成しますから。それからもう一つですね、プールですか、プールを公認のプールにしたということで、いろんな大会が行われているみたいですけど、具体的にどういう大会が行われているんですか。

#### 柳原課長補佐

水泳協会ですね、昔、亡くなった濱崎敬和さんの大会ということであって、敬和杯ということで、阿久根大会が5月の末だったと思うんですが、4月の末か5月の末に開催されております。それは毎年、今、行われております。それにプラスことしは、御存じのとおり県民体育大会の水泳大会が開催をされました。それと、今、鹿児島あたりから、少年団関係等もですね、うちのプールに来て合宿等も行っている状態であります。以上です。

#### 山田勝委員

今、私もたまたまね、行って見たことがあるんですよ、大会のある日にですね、いやこれはすごいなと思いましたよ、ですから、そういうスポーツ大会の受け皿づくりをですね、やはりやる必要があるのではないかと思いますよ、あそこで、もちろん今サッカーのパーティードの話もよくしていますけどね、ああいうふうにですね、受け皿づくりをすれば、阿久根市も活性化するという気がするのでね、申し上げるんですが、そういうのも具体的にね、私は取り組んで欲しいと思いますよ。いかがですか、柳原補佐。

#### 柳原課長補佐

今度ですね、先ほどからありますように、直で課長から話がありましたけれども、今年度からスポーツ推進課ということで、課を国体準備も含めまして、市の課を新設されましたの

で、今後施設整備をしながらですね、いろんな競技の合宿、その他について前向きに考えていきたいと思っております。

#### **山田勝委員**

国体では阿久根の会場はボクシング会場だということなのですが、ボクシング会場に向けての準備は去年からされている、ことしからされているんですか。

#### **堂之下スポーツ推進課長**

ボクシング会場につきましては、現時点ではいまだ内定という形でしか、こう御報告できないわけですが、決定を待ってからということでは後手に回るものですから、まず動いたのは今年の8月21日に準備委員会の発起人会というのを開催しております。本年度中には準備委員会もまた開催しながら国体に向けての動きを進めてまいりたいと考えています。

#### **山田勝委員**

後から後悔することのないようにですね、積極的に取り組んで欲しいと思います。以上です。

#### **牟田学委員長**

はい、ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、認定第1号中、スポーツ推進課所管の事項について、審査を一時中止いたします。この際、暫時休憩します。

(スポーツ推進課退室)

(休憩 15:06～15:15)

(水道課入室)

#### **牟田学委員長**

休憩前に引き続き委員会を開催いたします。次に、認定第1号中、水道課所管の事項について審査に入ります。課長の説明を求めます。

#### **中野水道課長**

認定第1号、平成27年度阿久根市一般会計の歳入・歳出決算のうち、水道課所管に係る事項について、決算に関する説明書及び事項別明細書により、御説明申しあげます。初めに歳入に係る事項については、該当がありませんでした。

次に、歳出について、御説明いたします。決算に関する説明書は、42ページ、事項別明細書は、41ページをお開き願います。4款衛生費、3項1目上水道費の予算現額4,760万円に対し、支出済額は4,478万3千円で、不用額は、281万7千円であり、執行率は、94.08%であります。不用額は、工事の尻無系電気計装を再検討したこと、これに伴う導水送水管布設の設置位置を見直したことが主なものであります。内訳としましては、28節、繰出金は、繰出基準に基づいた額のルール分4,411万3千円、児童手当分12万円の繰り出しであります。以上で、認定第1号についての説明を終わります。

なお、質疑に関する答弁につきましては、私もしくは担当係長が行います。よろしくお願い申し上げます。

#### **牟田学委員長**

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、認定第1号中、水道課所管の事項について審査を一時中止いたします。

#### **○認定第3号 平成27年度阿久根市歳入歳出決算認定について（簡易水道特別会計）**

#### **牟田学委員長**

次に、認定第3号を議題とし、審査に入ります。課長の説明を求めます。

## 中野水道課長

認定第3号、簡易水道特別会計について、決算に関する説明書及び事項別明細書により御説明申し上げます。初めに歳出から御説明申し上げます。決算に関する説明書は、18ページ、事項別明細書は、22ページをお開きいただき、歳出合計の支出済額の欄をごらん願います。平成27年度、簡易水道特別会計における歳出の支出済額は、3億5,709万4,854円であり、予算現額3億7,469万6千円に対する予算残額は、1,760万1,146円であり、執行率は、95.3%であります。翌年度繰越額1,453万5,381円となっております。決算に関する説明書は、17ページ、事項別明細書は、21ページにお戻り願います。1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、予算現額9,180万1千円に対し、支出済額は、7,547万2,970円であり、不用額は1,632万8,030円で、執行率は82.21%であります。内訳を申し上げます。1節報酬、支出済額172万932円は、簡易水道事業に係る事務補助等の嘱託員、1名分の報酬であります。2節給料、3節職員手当、4節共済費、職員2名の人件費が主なものであります。給料と共済費の予算残は人事異動によるもので、職員手当などの予算残は時間外手当が少ないことが、主な理由であります。7節賃金、予算現額14万円に対し、執行済額6万3千円は、大雨等による水源地応急作業員の賃金であり、不要額の7万7千円は、雨天が少ないことによる執行残が主なものであります。8節報償費、執行済額24万3,950円は、水道料金の徴収等に伴う区長への謝金であり、10万6,050円の不用額は、区徴収実績による執行残であります。9節旅費、予算現額31万4千円に対し、執行済額14万4,620円は、研修出張旅費が主なものであります。11節需用費、支出済額2,265万463円は、市内の4簡易水道事業に係る電気料1,215万2,578円、漏水修理及び機械設備等の修繕費883万1,047円、脇本地区簡易水道県道脇本赤瀬川線脇本調剤薬局給水管修繕費49万9,500円が主なものであり、不用額の852万2,537円は、消耗品、光熱水費、修繕料等の執行残が主なものであります。12節役務費、支出済額1,122万8,790円は、郵便料、電話料等の通信運搬費144万8,526円、水道賠償責任保険料、口座振替手数料、85万9,213円、水質検査料等の役務費834万3千円、漏水調査35万9,640円が主なものであります。不要額の340万3,210円は、水質検査の臨時再検査が不要であったことに加え、緊急時の漏水調査が少なく済んだことが主な要因であります。13節委託料、支出済額2,412万600円は、4簡易水道施設の管理及びメーター検針1,888万8千円と公営企業法適用に係るアドバイザー等業務委託349万2,720円と計装設備保守点検業務委託分の129万6千円が主なものであります。14節使用料及び賃借料、支出済額50万4,543円は、台風12号と15号による発電機リース代32万7,024円が主なものであります。16節原材料費、支出済額55万3,130円は、漏水修繕等の材料購入に係る経費であります。17節公有財産購入費、支出済額4万5,792円は、出水市から給水していた筒田地区の計測機器類購入に係る経費であります。18節備品購入費、支出済額144万1,190円は、車両購入135万9,240円と残留塩素量計測器購入8万1,950円に係る経費であります。19節負担金補助及び交付金、支出済額47万5,500円は、鹿児島県水道協会への負担金と水道料金システムサポート負担金が主なものであります。

続きまして、2款1項1目簡易水道施設整備事業費は、国庫補助事業である大川尻無地区簡易水道施設整備事業及び中部地区簡易水道施設整備事業、黒之瀬戸簡易水道施設整備事業に係る経費であり、予算現額1億9,622万6千円に対し、支出済額は、1億9,622万2,614円であり、執行率は、100%であり、不用額は3,386円であります。9節旅費、支出済額2万1,800円、11節需用費、支出済額49万6,814円は事務費であります。13節委託料、支出済額975万2,400円は、大川尻無地区、中部地区、黒之瀬戸簡易水道に係る実施設計の委託料であります。15節工事請負費、支出済額1億8,595万1,600円は、大川尻無地区、中部地区、黒之瀬戸簡易水道における電機計装・

導水管送水管配水管布設等の工事請負費であります。平成27年度末の事業進捗としましては、大川尻無地区が100%、中部地区が4%、黒之瀬戸地区が84%であります。なお、詳細につきましては、別紙、主要事業の成果説明書の124ページから128ページの参照をお願いいたします。

次に、3款1項公債費、予算現額8,566万9千円に対し、支出済額は8,539万9,270円であり、執行率は、99.69%であります。1目元金、23節償還金利子及び割引料、支出済額6,483万6,767円は、簡易水道施設整備事業債の償還元金であります。2目利子、23節償還金利子及び割引料2,056万2,503円は、同じく利子の償還であります。平成27年度末の未償還元金は、18億4,360万円であります。4款予備費の支出はありませんでした。

次に、決算に関する説明書は、16ページ、事項別明細書は、20ページをお開きいただき、歳入合計の収入済額の欄をごらんいただきたいと思います。平成27年度簡易水道特別会計における歳入の収入済額は、予算現額3億7,469万6千円に対し、調定額は、3億7,225万3,685円であり、収入済額は、3億7,163万235円で予算現額に対する割合は99.18%、調定額に対する割合は99.83%であります。決算に関する説明書は、15ページ、事項別明細書は、19ページにお戻り願います。1款使用料及び手数料、1項使用料、1目水道使用料、予算現額8,720万8千円に対し、調定額は、8,742万1,800円、収入済額は、8,679万8,350円で不能欠損額20万3,060円、収入未済額は42万390円あります。1節水道使用料は、調定額8,741万3,800円、収入済額は8,679万350円で、徴収率は99.29%であります。不能欠損額20万3,060円の内訳は、過年度18人の141件で、平成16年度に簡易水道を引き取って初めて、債権者死亡などの理由により、平成16年度から平成22年度の過去7年間を行っております。収入未済額42万390円の内訳は、現年度分水道使用料が193件の75名で、35万7,620円、過年度分が57件の13名で、6万2,770円あります。2節簡易水道施設用地使用料、調定額、収入済額とも8千円で、電話柱の占用料であります。2項手数料、1目1節水道手数料、予算現額17万4千円、調定額、収入済額とも、24万1,400円であり、水道料金の督促や開栓・閉栓等の手数料であります。2款分担金及び負担金、2項負担金、1目1節給水負担金、予算現額187万9千円、調定額及び収入済額は187万9,200円であり、家屋の新築等に伴う給水設置負担金19件分であります。3款国庫支出金、2項国庫補助金、1目1節簡易水道施設整備費国庫補助金は、予算現額、調定額、収入済額とも5,118万円で、執行率は100%であります。5款繰入金、1項1目1節一般会計繰入金、予算現額4,821万5千円は、補正額6,430万5千円の減額は国庫補助事業の内示額の減額に伴うものに消火栓維持管理費、153基の45万9千円、消火栓設置負担金、2基の70万円、児童手当分の12万円を含みまして、調定額及び収入済額は4,539万2千円であり、執行率は94.14%であります。繰入金は繰入基準のルール分に基づいて算出された額であります。6款1項1目1節繰越金、予算現額2,898万2千円で、調定額及び収入額は、2,898万2,805円あります。7款諸収入、1項1目市預金利子、1節預金利子、予算現額1千円で、調定額及び収入額ともに0円あります。2項1目1節雑入、予算現額1,385万7千円で、調定額及び収入済額とも1,395万6,480円であり、消費税及び地方消費税還付金1,375万4,180円が主なものであります。8款1項1目市債、1節簡易水道施設整備事業債、予算現額1億4,320万円で、調定額及び収入額ともに1億4,320万円であり、大川尻無地区、中部地区、黒之瀬戸簡易水道施設整備事業費に係る財政融資資金であり、全て簡易水道事業債であります。

以上、認定第3号についての説明を終わります。なお、質疑に関する答弁につきましては、私もしくは担当係長で行います。よろしくお願ひ申し上げます。

牟田学委員長

課長の説明は終わりました。これより質疑に入ります。

**竹原信一委員**

債権といいますが、お金を借りているその金利がちょっと高いんじゃないかという気がしたんですけれども、年利何%で借りてるんですか。借り換えも検討すべきだと考えますがいかがでしょう。後でもいいよ。

**牟田学委員長**

はい、ほかに。

**山田勝委員**

竹原委員は優しいから後でもいいよと言うけど、こんなのわかつらんほうがおかしいよな、本当は。さて、ちょっとお尋ねしますけどね、私は、この決算書を見とってですね、こうふと思ったんですけどね、工事請負費1億8,595万1,600円の支出済額です。不用額は40万円です。これは何ですかっていったら、恐らく入札残だと思いますよね。これをね、パーセントを出してみればですね、残りが0.000002%です。建設から何からですね、0.25とか、0.1とかあるんですが、これはもうおかひかと思わんけ。できレースやんかんや、課長。競争、ちゃんとした競争入札が行われているんですか。

**中野水道課長**

行われていると思います。すいません、当初、一番最初に当初予算でいただいた予算額の中で、27年度も内示で、国の内示のほうが満額で来なくて、たしか72%来まして、そのまま補正が、国の追加補正が来るかもしれないということで、減額補正をしないまま、最終、3月まで待った結果、残額が残ったという形での、金額が40万ということです。（7日、開会后訂正あり）

**山田勝委員**

そしたら75%で100%の事業を75%でやったということですか、あなたがいう計画は。

**中野水道課長**

すいません、27年度、100%でするつもりが、75%でしか来なかったもんですから、とりあえずまだ事業年度が28年度も残っておりますので、その分については28年度に回すということで、本年度は、補正も来なかったもんですから、75%の執行を行った中の40万円の残りということです。

**山田勝委員**

なら、75%、75%の予算で、前年の計画の100%仕事をしたのではないわけですね。

**中野水道課長**

平成26年度までは、補助申請する中ではいつも100%、内示も100%でずっと来てたんですが、平成27年度から72%でしか来なくなった関係で、とりあえず、28%分の残りについては、先ほども申し上げましたが、国の補正の要望希望がある時に、備えるために、ことしの3月まで待っていたという状況で金額を調整したところです。

**山田勝委員**

水道課はね、水道課は指名、入札については特権を与えられているからね、この件についてはまた後で話をしますけれども、一応私は単なるそういう、単なる頭の、知恵のなか人の疑問で言いましたから、わかりました。さて、そこですね、私はもう何遍となく、大淵川とですね、松ヶ根の簡易水道に取り組む話をしているんですが、その後どうなっているの。

**中野水道課長**

大淵川、松ヶ根地区の共同につきましては、平成28年度新水道ビジョン基本計画及びアセットマネジメント策定業務委託を5月より着手しておりまして、上水道のほうで、その中で28年度内での簡易水道への給水計器への取り組みにおきまして、まず6月8日に両地区の役員の協力のもと現地調査を行いまして、配水池及び水源地への位置、施設概要等の確認をして、取り組みに向けて行っているところです。

**山田勝委員**

取り組むことに前向きにちゃんと取り組んでおりますということですか。

**中野水道課長**

はい、その通りです。

**山田勝委員**

もう何遍となく言いますけれどもね、こういうのはおはんたちがしやればすつとなじや始まらないんですよ、できない人やったって、松ヶ根にしろ、大淵川にしてもね、条件を整えて持ってきやれば認定しますよ、ちゃんと通りますよって、できやれんしやったって。だからあなた方の力が必要だと私は言っているわけで、そういう中でちゃんと取り組んでいるということであればですね、一応了解しました。

**中野水道課長**

すいません、先ほどの竹原委員からの利子ですが、簡水債が30年で、過疎債10年というところの中で、0.5%から2.3%の利子です。

**竹原信一委員**

借り換えの可能性についてを、検討はしないんですか。

**中野水道課長**

今のところまだ検討に入っていないところです。

**竹原信一委員**

一応調べてみてもいいんじゃないですかね、そしてできればやるというのは、これは当たり前の作業ですから、やってみてください。

**中野水道課長**

はい、わかりました。

**牟田学委員長**

ほかに質疑はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、認定第3号について、審査を一時中止いたします。

ここでお諮りいたします。本日の審査はこの程度にとどめ散会したいと思います、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、本日はこれにて散会をいたします。あすは午前10時より再開いたします。

(閉 会 15時39分)

決算特別委員会委員長 牟 田 学